

石川県立歴史博物館

年 報

第 22 号
令和元年度

発行にあたって

令和元年度は、3つの特別展と2つの企画展を中心とした博物館活動を展開しました。

特別展を総覧すると、春季特別展「いしかわの神々―信仰と美の世界―」では、地域住民や関係自治体と連携しながら、これまで人目に触れることのなかった神像彫刻や本地仏などを公開し、その信仰の歴史と美の世界をたどりました。夏季特別展「画業50年“突破”記念 永井G0展」では石川県輪島市出身のマンガ家・永井豪に注目し、多彩な作品から永井豪がつくり出す世界観に迫りました。また、秋季特別展「加賀前田家と北野天満宮」は京都の北野天満宮や前田育徳会、県内の天満宮に伝わる天神関係資料が一堂に会し、加賀前田家と北野天満宮の関係に迫る初めての試みとなりました。春と秋の展覧会にあわせて開催された「石川の歴史遺産セミナー」では、古代の著名な祭祀遺跡である羽咋市寺家遺跡と、加賀前田家の天神信仰という2つのテーマに関する最新の学術研究を発信することができました。

ワークショップなどのイベントも年間を通じて行われ、子どもから大人まで幅広い世代の方々楽しんでもらえる内容となりました。今後もリニューアルのコンセプトである「誰もが楽しく学べる博物館」「ゆったりとくつろげ、交流を育む博物館」「人に優しい博物館」の実現と発展に向けて、より一層努力を重ねていきたいと考えています。

ここに、令和元年度の年報を発行するにあたり、これまでご協力を賜りました関係各位に感謝申し上げますとともに、今後ともご指導とご協力をお願い申し上げます。

目 次

基本構想・利用案内

I. 令和元年度の事業

1. 展示活動
2. 調査研究活動
3. 資料収集保存活動
4. 教育普及活動
5. 入館状況

II. 施設概要

1. 設備概要
2. 各棟面積一覧
3. 館内平面図

III. 組織と運営

1. 職員組織

2. 職員名簿

3. 予算及び決算

4. 事務分掌

5. 各種委員会

6. 入場料について

IV. 関連条例・規則

1. 学校以外の教育機関等設置に関する条例
2. 石川県立歴史博物館管理規則
3. 石川県立歴史博物館使用料条例
4. 石川県立歴史博物館使用料施行規則

V. 日記(抄)

VI. 各種書式

基本構想

石川の歴史と文化を正しく、楽しく学習する拠点施設としての機能を充実するとともに、より多くの県民の方々や観光客に訪れて頂けるよう、国指定重要文化財としての建物の魅力や本多の森公園の立地環境を生かしながら、周辺施設と連携協力し、親しみやすく利用しやすい博物館とする。

(1) 誰もが楽しく学べる博物館

訪れるたびに新鮮な驚きと発見／感動があり、楽しく学べるとともに、探求心を育む博物館を目指す。

(2) ゆったりとくつろげ、交流を育む博物館

フリーゾーンを新設し、誰もが気軽に立ち寄り、本多の森公園の緑や国指定文化財の赤レンガ建物が持つ落ち着いた雰囲気の中でゆったりくつろぎ、様々な交流が生まれる博物館を目指す。

(3) 人に優しい博物館

様々な人々が快適に利用できる博物館、石川の歴史や文化に関する資料を大切に保管し、未来へと伝える博物館を目指す。

利用案内

開館時間	午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
休館日	年末年始(12月29日～1月3日)、資料の展示替え・整理の期間
観覧料	常設展 個人 一般300円、大学生240円、高校生以下無料、65歳以上240円 団体(20人以上) 一般240円、大学生190円 加賀本多博物館との共通券(常設展のみ) 一般500円、大学生400円

特別展は別途料金

交通案内	徒歩／兼六園から約3分 バス／北陸鉄道バス出羽町下車徒歩約5分 広坂・21世紀美術館下車徒歩約8分 タクシー／JR金沢駅から約10～15分 自動車／北陸自動車道 金沢西IC・森本ICから約10～30分
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

駐車場	30台（無料）
所在地	石川県金沢市出羽町3-1



I. 令和元年度の事業

1. 展示活動

(1) 常設展示

「石川県の歴史と文化」をテーマとした総合展示。実物資料のほかジオラマや模型、モニターや大型スクリーンによる映像、パネルなどを駆使し、分かりやすく紹介している。ポイントとなる模型や展示資料は4ヶ国語の音声ガイドによって解説を加え、学習効果を高めている。

第1展示室

[導入映像] (展示室入口)

現代から過去へ、映像がフラッシュバックしながら、各時代を代表する出来事を交えて石川の歴史を紹介している。



導入映像

I 豊かな自然となりわい

狩猟採集から米作りへ 豊かな大地に育まれた太古の暮らしを探る

1 森と海に生きる縄文人

- 縄文人の祈りと造形
- 謎の巨大木柱
- 気候変動と狩りの変化
- よみがえる縄文犬
- 海のなりわい
- 森のなりわい
- 漆工芸のはじまり

2 米作りと農耕社会の成立

- 水田稲作の伝来
- 弥生集落の風景
- 倭国大乱の時代
- 玉作りと鉄器の流通



「よみがえる縄文犬」復元品

II 日本海を行き交う人びと

東アジアに広がる交流、日本海が醸し出す文化 加賀・能登の国の始まりを見つめる

1 日本海交流と東アジア

- 古墳の出現
- 加賀・能登の古墳と豪族
- 須曾蝦夷穴古墳と渡来文化
- 東アジアとの交流
- 渤海使と古代の湊
- 海を渡ってきたモノたち



蝦夷穴古墳模型

2 能登国・加賀国の誕生

- 律令制と地域社会
- 加賀郡榜示札と農民の暮らし



古代の御触書「加賀郡榜示札」

III 武士と一揆

武家政権の成立から加賀の一向一揆へ
くり返される戦乱の時代を生きた人びとの姿に迫る

1 武士の世へ

- 源平争乱と白山宮
- 堅田館跡
- 荘園と海のネットワーク
- 荘園のひろがり
- 珠洲焼



「堅田館—鎌倉時代の
加賀有力武士の館」模型

2 信仰の世界

- 加賀・能登の神と仏
- 新仏教の受容と展開
- 時宗
- 白山信仰
- 禅宗
- 石動山
- 日蓮宗

3 一揆の時代

- 能登畠山氏と七尾
- 戦国末期の能登情勢
- 加賀の一向一揆百年
- 大坂本願寺合戦と北陸
- 能登畠山氏
- 百姓ノ持タル国
- 長享の一揆
- 一向一揆の終局
- 七尾城下の繁栄
- 真宗のおこり
- 金沢御堂と寺内町
- 古文書にふれてみよう

IV 加賀藩の政治と文化

戦国の世から前田家の治世へ 安定した社会の中で育まれた文化生活の諸相をひもとく

■天下人の時代

1 加賀藩の成立

- 加賀前田家と江戸幕府
- 藩士の身分
- 改作法と村御印
- 学問と教育
- 金沢城

2 加賀藩政の展開

- 城下町金沢
- 金沢町人のくらしと文化
- 北前船と加賀・能登



「大名行列が行く」大型パネル

3 幕末の加賀藩

- 藩財政の立て直し
- 村々の生活
- 飢饉と災害
- 海防と銃卒
- 幕末の混乱と加賀藩



城下町金沢の暮らしと町並み模型

第2展示室

V 近代国家と石川県

石川県の誕生、そして激動の時代へ
近代化の道のりと人びとの生活の変化をたどる

[近現代導入映像] (展示室入口)

1 武士の近代

- 石川県の誕生
- 「百万石」の武士から士族へ
- 紀尾井町事件
- 屯田兵と前田村

2 「美術工業」の時代

- 銅器会社と田中孫平
- 輸出工業
- 吉之助と米次郎
- 博覧会と博物館

3 日清・日露戦争と県民

- 日清戦争と兵士
- 日露戦争と県民
- ロシア軍捕虜の生活
- 北陸線と金沢駅
- 背囊を持ってみよう

4 特別名勝「兼六園」

5 デモクラシーとモダン

- 静かな米騒動
- 普通選挙と青年党
- モダニズムと大衆文化

6 戦争の時代と民衆

- 空襲をまぬがれた戦争
- 戦地と兵士
- 七七禁令と代用品
- 戦争と人びとの祈り
- 満蒙開拓の光と影

7 復興と成長の日々

- 占領・引揚・復興
- 内灘闘争
- 高度成長から安定成長の時代へ
- 戦後の住宅政策と石川県



紀尾井町事件映像



特別名勝「兼六園」模型

VI 加賀・能登の祭り

神と人がひとつになる厳粛な世界 心浮き立つ勇壮華麗な世界
祭り文化の多様性を見つめる

1 神と人の饗宴

○県内の特色ある祭り料理[神饌]をテーマに展示している。

◇一宮の神饌

- 例大祭・夕御饌祭
- 平国祭

◇豊作への祈り

- ふきのと祭り
- もっそう祭り
- 十七夜祭り
- いどり祭り
- おけら祭り

◇生贄伝説の世界

- 如月祭
- 叩き堂祭り
- 青柏祭
- 小串祭り
- 春祭り
- 大幡郷社祭り
- 鯖踊り神事
- 弓引き祭り
- 猿鬼の遺品

2 祭礼風流の世界

○曳山や鉾・屋台・造り物・練り物など華やかな出し物をテーマに祭礼遺産を更新しながら展示している。

◇いしかわの祭礼風流

- 高松の長行灯
- 青柏祭
- 金沢の曳山
- 近江町の大行灯
- お旅祭り
- 華やかな祭礼練り物
- キリコ祭り
- 加賀・能登の地芝居
- 片町の絵行灯飾り
- 先触れ面

◇城下の祭礼と興行

- ハレの飾り
- ハレのガイドブック
- 幻の大祭
- 金沢の祭礼能
- 祭礼と興行
- 踊り唄の出版
- 百万石祭りの源流
- 金沢の獅子舞
- 軍隊・学校・会社の祝祭

◇祭礼体感シアター

(2) その他の施設

第1棟 歴史発見館

1階 休憩室・姉妹館交流コーナー

当館と韓国国立全州博物館の姉妹館交流について紹介している。

2階

特別展示室

自主企画展示のほか、話題性のある魅力的な大型展示を積極的に誘致する。



神饌



祭礼体感シアター

企画展示室

歴史博物館が所蔵する優品やコレクション、さらには常設展を補うテーマ性の高い内容を定期的に更新しながら展示する。

第2棟 交流体験館

1階 いしかわウェルカムラウンジ

総合案内・発券

ミュージアムショップ

歴史博物館のオリジナルグッズなどを販売する。



いしかわウェルカムラウンジ

建物 100 年ギャラリー

歴史博物館の建物である旧陸軍兵器庫兵器支廠について、建築当時やその後の保存修復などの写真を中心に、その歴史と重要文化財としての価値、魅力を紹介している。また、大きな窓ガラスからは、第3棟のレンガ壁や辰巳用水モニュメントを見渡することができる。

兼六園周辺文化の森模型

兼六園周辺に多数ある文化施設の情報や見どころを紹介し、周辺への回遊を促す。また、兼六園周辺の空撮写真や古地図から、地域の変遷を学習することができる。



兼六園周辺文化の森模型

石川歴史・観光マップ（タッチモニター）

もっと知りたい石川クイズ、石川県の観光情報、石川県の文化財の3つのコンテンツからなる。

なりきりショット

スクリーンに写しだされた絵画や古写真に画像に自身の顔を合成して、カメラで撮影して来館の記念にできる。

石川大パノラマ

大正～昭和前期にかけて全国各地の鳥瞰図を描いた吉田初三郎(1884～1955)が、石川県から依頼されて1933(昭和8)年に描いた「石川県鳥瞰図」を紹介。地図の中から21か所のポイントを選び、詳しい説明を加える。

1階 れきはくロビー

ミュージアムシアター

「金沢城下町を歩く」と題した映像番組を放映。加賀藩と城下町金沢の成立、城下町金沢の構造と特色、そして館蔵品の「金沢城下図屏風」をテーマとする。また、期間限定で特別展などに合わせた映像などを放映する。



ミュージアムシアター

ギャラリー

一般県民の皆様が展示活動に利用できる貸スペース。

2階 歴史体験ひろば・多目的ホール

実物資料や模型資料に直接触れ、また使ってみることによって、歴史の面白さを味わうことのできる体験コーナー。幼児から大人まで、幅広い年齢層が楽しむことができる。

また、多目的ホールとして、講演会やセミナー、ミニコンサートなどの行事を開催している。



歴史体験ひろば

主な体験メニュー

- ・昔の衣装体験—十二単の貴婦人、甲冑武士、武家のお姫様など
- ・昔の遊び体験—貝合わせ、盤双六、羽つきなど
- ・昔の乗り物で記念撮影—人力車、駕籠
- ・歴史資料に触れる体験—石器、土器、小判、十手など
- ・山の民家—囲炉裏、石臼、蓑笠、燭台など
- ・昔の学校—椅子、机、黒板、教科書、参考書など
- ・未就学児向け歴史体験(ひよこのひろば)—はにわボウリング、歴史まも当てなど

情報コーナー

歴史博物館の所蔵資料に関する情報（実物資料・文献資料・画像など）を提供。また、閲覧室や学習相談室としても活用することができる。

ワークショップルーム

実技講座をはじめ研究会・講習会・展示説明会など、幅広い年齢層の人びとが参加できる行事を開催している。

ほっとサロン

庭園の景色や建物の外観を眺めながら、ゆったりとくつろげる休憩コーナー。



ほっとサロン

(3) 特別展

春季特別展

「いしかわの神々―信仰と美の世界―」

里山・里海そして奥山の恵みにあずかる私たちのふるさとでは、古来よりさまざまな神々と寄り添う暮らしがありました。本展では、これまで人目に触れることなく大切に守り伝えられてきた神像や、神と一体視された仏像を中心に、石川の信仰の歴史と神仏習合の世界をご紹介します。門外不出の神像や貴重な文化財が出品されるこのまたとない機会に、人びとの心に顕れた神の姿をご堪能下さい。



チラシ

会 期 平成31年4月27日(土)～令和元年6月2日(日) 会期中無休
時 間 9:00～17:00 (展示室への入室は16:30まで)
観 覧 料 《春季特別展のみ》 一般 800円(640円)、大学生 640円(510円)、高校生以下無料
《春季特別展と常設展のセット料金》 一般 880円、大学生 700円
※()内は20名以上の団体料金、65歳以上は団体料金
会 場 特別展示室 企画展示室 ギャラリー
展示構成 第1章 古代の神まつり / 第2章 神と仏のであい / 第3章 顕れた神 / 第4章 神々の変身―本地垂迹説の広まり― / 第5章 神へのささげもの
催 物

記念講演会 (聴講無料・申込不要)

「能登の神像彫刻とその周辺」

日 時：5月11日(土) 13:30～15:00
講 師：奥 健夫 氏(文化庁主任調査官)
会 場：ワークショップルーム
聴講者：93名

石川の歴史遺産セミナー (聴講無料・要申込)

「気多神の原像を探る」

日 時：5月25日(土) 13:00～17:00
会 場：ワークショップルーム
参加者：76名

ミュージアムウィーク特別講演会 (聴講無料・要申込)

「可能性への挑戦～神話から始まる大相撲の世界～」

日 時：4月27日(土) 13:30～15:00
講 師：舞の海 秀平 氏(元力士/NHK大相撲解説者)
会 場：石川県立美術館ホール
聴講者：185名

展示解説 (要観覧料・申込不要)

日 時：5月6日(月・祝)、5月31日(金)
13:30～14:30
参加者：4月21日:90名
5月31日:54名



展示風景



展示風景



展示風景



展示風景



観覧風景



開会式



記念講演会



展示解説

いしかわの神々

2019年度
春季特別展

4/27^土

～6/2^日 会期中
無休

——— 信 仰 と 美 の 世 界 ———

◇ No.は図録番号です。展示順とは一致していませんので、ご了承ください。

◇ 指定名称には次の記号を用いています。

◎重要文化財 □県指定文化財 △市町指定文化財

◇ 資料の保護のため、温湿度を一定に管理しています。また、照明を暗くしている場所があります。

出品一覧



いしかわ赤レンガミュージアム

石川県立歴史博物館
ISHIKAWA PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY

第1章 古代の神まつり

No.	指定	資 料 名	年 代	員数	所 蔵 者	備 考
1	◎	褌がけ袷袢衣の女子	古墳(6世紀)	1	小松市	小松市矢田野エジリ古墳
2		ト骨	古墳(4世紀)	1	石川県埋蔵文化財センター	金沢市畝田遺跡
3		方格規矩鏡	後漢(1~2世紀)	1	石川県埋蔵文化財センター	宝達志水町宿東山1号墳
4		六鈴鏡	古墳(6世紀)	1	京都国立博物館	能美市和田山1号墳
5		鈴付銅釧	古墳(6世紀)	1	京都国立博物館	能美市和田山2号墳
6		四神四獣鏡	古墳(6世紀)	1	京都国立博物館	能美市和田山2号墳
7		子持勾玉	古墳(5世紀)	4	石川県埋蔵文化財センター	
-1・2		子持勾玉		2		七尾市小島西遺跡
-3		子持勾玉		1		小松市漆町遺跡
-4		子持勾玉		1		金沢市藤江C遺跡
8		四柳ミッコ遺跡出土品	古墳(5世紀)	26	石川県埋蔵文化財センター	
-1		有孔円板		3		
-2		滑石製剣形品		1		
-3		滑石製管玉		2		
-4		滑石製白玉		20		
9		高田遺跡出土品	古墳(5世紀)	14	志賀町教育委員会	
-1		竈		1		
-2		手捏土器		6		
-3		土師器高坏		1		
-4		土師器壺		1		
-5		土師器甕		1		
-6		須恵器坏蓋		1		
-7		陶製紡錘車		1		
-8	△	子持勾玉		2		
10		指江B遺跡下層出土品	古墳(5~6世紀)	20	石川県埋蔵文化財センター	
-1		紡錘車		6		
-2		糸巻		1		
-3		臼玉・土玉		一連		
-4		勾玉		5		
-5		管玉		2		
-6		ガラス玉		一連		
-7		切子玉		1		
-8		琴柱		3		
11		指江B遺跡上層出土品	奈良~平安(8~9世紀)	13	石川県埋蔵文化財センター	
-1		木簡		1		
-2		墨書土器		5		
-3		木沓		1		
-4		曲物		2		
-5		舟形木製品		1		
-6		鳥形木製品		1		
-7		火鑽板		1		
-8		燈明痕をもつ土器		1		
12		小島西遺跡出土木製品	奈良~平安(8~12世紀)	12	石川県埋蔵文化財センター	

No.	指定	資 料 名	年 代	員数	所 蔵 者	備 考
-1		斎串		3		
-2		人形		3		
-3		馬形		1		
-4		舟形		1		
-5		弓形		1		
-6		刀形		1		
-7		鹿笛		1		
-8		イノシシ頭骨		1		
13		馬歯・下顎	平安(10世紀)	1	石川県埋蔵文化財センター	羽咋市寺家遺跡
14		陶馬	奈良(8世紀)	1	中能登町教育委員会	中能登町二宮遺跡
15		陶馬	奈良(8世紀)	1	個人	中能登町芹川ハネ遺跡
16		類聚三代格 第六冊	書写年未詳	1	京都大学附属図書館	
17		続日本紀 第二〇冊	江戸時代	1	石川県立図書館	
18		寺家遺跡出土品	奈良・平安(8~9世紀)	57	石川県埋蔵文化財センター・ 羽咋市教育委員会	
-1		祭祀地区	狻倪鏡 平安(9世紀)	1		
-2			小形獸文鏡 平安(9世紀)	1		
-3			素文鏡 奈良~平安(8~9世紀)	2		
-4			步揺 奈良~平安(8~9世紀)	2		
-5			銅銭 奈良~平安(8~9世紀)	2		
-6			鉄儀鏡 奈良~平安(8~9世紀)	1		
-7			直刀 平安(9世紀)	1		
-8		砂田地区	海獸葡萄鏡 奈良(8世紀)	2		
-9			素文鏡 奈良(8世紀)	3		
-10			銅鈴 奈良(8世紀)	3		
-11			垂飾 奈良(8世紀)	1		
-12			帯金具 奈良(8世紀)	3		
-13			銅銭 奈良(8世紀)	2		
-14			飾金具 奈良(8世紀)	1		
-15			ガラス埴塼 奈良(8世紀)	1		
-16			墨書土器 平安(9世紀)	1		
-17			耳環 平安(9世紀)	1		
-18			素文鏡 平安(9世紀)	2		
-19			銅鈴 平安(9世紀)	3		
-20			垂飾 平安(9世紀)	1		
-21			帯金具 平安(9世紀)	1		
-22			銅銭 奈良~平安(8~9世紀)	4		
-23			鞆口金具 平安(9世紀)	1		
-24			舟形鉄製品 平安(9世紀)	1		
-25			三彩壺 平安(9世紀)	1		
-26			三彩陶枕片 平安(9世紀)	2		
-27			三足盤 平安(9世紀)	1		
-28			緑釉平瓶 平安(9世紀)	1		
-29			焼塩壺 平安(9世紀)	1		
-30		砂田地区「宮司館」周辺	墨書土器 平安(9世紀)	4	内3点羽咋市教育委員会	
-31			海獸葡萄鏡 平安(9世紀)	1		
-32			三彩壺蓋 平安(9世紀)	1		
-33			帯金具 平安(9世紀)	2		
-34			鉄鐸 平安(9世紀)	2		

第2章 神と仏のであい

No.	指定	資 料 名	年 代	員数	所 蔵 者	備 考
19		菩薩立像	飛鳥(7世紀)	1	西光寺	
20		如来及両脇侍像(複製)	原品:飛鳥(7世紀)	1	本館	原品:薬師寺蔵
21	□	薬師如来坐像	平安(10~11世紀)	1	龍護寺	酒見少彦名神社旧蔵
22		菩薩立像	奈良(8世紀)	1	奈良国立博物館	伝白山温泉出土

No.	指定	資 料 名	年 代	員数	所 蔵 者	備 考
23		銅板鑄出如来立像	奈良(8世紀)	1 個人		金沢市三小牛ハバ遺跡
24	△	三鈷鏡	奈良～平安(8～9世紀)	1 個人		羽咋市福水ヤシキダ遺跡
25	△	錫杖頭	平安(9世紀)	2 個人		羽咋市福水ヤシキダ遺跡
26	□	僧形神坐像	平安(10世紀)	1 泰澄寺		福井県
27		僧形坐像	平安(10世紀)	1 石川県埋蔵文化財センター		小松市浄水寺跡
28		気多大神宮寺木簡	奈良(8世紀)	1 高岡市教育委員会		高岡市東木津遺跡
29		松川瓦窯出土瓦	奈良(8世紀)	3 羽咋市教育委員会		
30		日本文徳天皇実録 第一冊	書写年未詳	1 京都大学附属図書館		
31		日本文徳天皇実録 第七冊	書写年未詳	1 京都大学附属図書館		
32		日本三代実録 第一冊	江戸(17～19世紀)	1 石川県立図書館		
33		延喜式 第十冊	書写年未詳	1 京都大学附属図書館		
34		為房卿記 第十冊	書写年未詳	1 京都大学附属図書館		
35	◎	白山縁起	永享11年(1439)	1 白山比咩神社		
36		金光明最勝王経四天王護国品木簡	平安(9世紀)	1 石川県埋蔵文化財センター		小松市高堂遺跡

第3章 顕れた神

No.	指定	資 料 名	年 代	員数	所 蔵 者	備 考
37	◎	久麻加夫都阿良加志比古神坐像	平安(11～12世紀)	1 久麻加夫都阿良加志比古神社		
38	△	男神坐像	平安(10世紀)	1 白山神社		珠洲市出田
39	△	男神坐像	平安(10世紀)	1 古麻志比古神社		
40		男神坐像	平安(10世紀)	1 美麻奈比古神社		
41	△	男神坐像	平安(12世紀)	1 伊夜比咩神社		
42	△	男神坐像	平安(11～12世紀)	1 宝泉寺		
43	△	女神坐像	平安(11～12世紀)	1 宝泉寺		
44	△	僧形神坐像	平安(11～12世紀)	1 宝泉寺		
45	□	十一面女神坐像	平安～鎌倉(12～13世紀)	1 八坂神社		福井県
46	◎	男神坐像	鎌倉(13世紀)	3 須須神社		5軀のうち
47	△	男神坐像	承久2年(1220)	1 伊夜比咩神社		
48		僧形神立像	鎌倉(13世紀)	1 金沢市教育委員会		金沢市千田北遺跡 (展示は5/18～6/2)
49		珠洲 仏神立像	平安～鎌倉(12～13世紀)	1 傳燈寺		
50		珠洲 仏神立像(複製)	原品:平安～鎌倉 (12～13世紀)	1 珠洲市立珠洲焼資料館		原品:個人(鳥屋尾神社旧蔵)
51	△	珠洲 仏神立像	平安～鎌倉(12～13世紀)	2 剣神社		
52		珠洲 仏神坐像	平安(12世紀)	1 光顕寺		
53	◎	白山三社神像	鎌倉(13世紀)	1 白山比咩神社		実物展示4/27～5/17、以後複製
54	□	印鑰明神垂迹図	南北朝～室町(14～15世紀)	1 印鑰神社		
55	□	白山曼荼羅	室町(16世紀)	1 國神神社		福井県
56		白山曼荼羅	永禄2年(1559)	1 本館		
57	□	白山曼荼羅	寛政元年(1789)	1 能美市		3幅対
58	△	隨身像	鎌倉(13世紀)	2 久麻加夫都阿良加志比古神社		
59	△	隨身像	鎌倉(13世紀)	2 波自加彌神社		
60	△	隨身像	文安6年(1449)	2 北嶋荒御前神社		
61	△	鬼形像	鎌倉(13世紀)	2 古麻志比古神社		
62		力士像	南北朝(14世紀)	2 柳田神社		
63	◎	狛犬	鎌倉(13世紀)	2 白山比咩神社		

第4章 神々の変身-本地垂迹説の広まり-

No.	指定	資 料 名	年 代	員数	所 蔵 者	備 考
64	□	薬師如来坐像懸仏	鎌倉(13世紀)	1 今蔵神社		
65	□	阿弥陀如来坐像懸仏	鎌倉(13世紀)	1 妙栄寺		能登町波並白山神社旧蔵
66		十一面観音坐像懸仏(複製)	原品:鎌倉(13世紀)	1 本館		原品:東京国立博物館
67		聖観音坐像懸仏	安貞2年(1228)	1 奈良国立博物館		
68	◎	六所宮懸仏	建治元年(1275)	6 高爪神社		
69	□	不動三尊種子懸仏	応永2年(1395)	1 加茂神社		
70	△	五社大明神坐像懸仏	応永3年(1396)	1 個人		

No.	指定	資料名	年代	員数	所蔵者	備考
71	△	十一面観音坐像懸仏	室町(15世紀)	2	輪島前神社	
-1		十一面観音坐像懸仏	文明3年(1471)	1		
-2		十一面観音坐像懸仏	室町(15世紀)	1		
72	△	俱利伽羅龍懸仏	文明9年(1477)	1	広田神社	
73	△	石動山境内古絵図	室町～安土桃山(16世紀)	1	石動山区	
74	◎	阿弥陀如来坐像	平安(12世紀)	1	正覚院	
75	□	一ノ宮村・同寺家村絵図	嘉永6年(1853)	1	羽咋市	
76	□	氣多社祭儀録	享禄4年(1531)	1	氣多大社	
77	△	日輪懸仏	桃山～江戸(16～17世紀)	1	正覚院	
78		十一面観音立像懸仏	桃山～江戸(16～17世紀)	1	正覚院	
79	□	愛宕権現図	室町(16世紀)	1	石川県七尾美術館	長谷川信春(等伯)筆
80		本朝神仙伝	弘化4年(1847)	1	石川県立図書館	
81		泰澄和尚伝記	室町(16世紀)	1	白山神社	福井県平泉寺
82	△	石動山古縁起	元和9年(1623)	1	石動山区	
83		氣多社古縁起	書写年未詳	1	正覚院	
84	□	氣多社御縁起	書写年未詳	1	氣多大社	

第5章 神へのささげもの

No.	指定	資料名	年代	員数	所蔵者	備考
85	◎	黒漆螺鈿鞍	鎌倉(13世紀)	1	白山比咩神社	展示は4/27～5/17まで
86	□	剣 無銘行平	平安～鎌倉(12～13世紀)	1	白山比咩神社	
87	□	太刀 銘加賀國金澤住兼卷作	寛永5年(1628)	1	白山比咩神社	
88	◎	鳳凰沈金彫手箱	室町(15～16世紀)	1	白山比咩神社	展示は5/18～6/2まで
89	◎	三宮古記	南北朝(14世紀)	1	白山比咩神社	
90	◎	白山宮莊嚴講中記録	室町(16世紀)	1	白山比咩神社	
91		父尉面(複製)	原品:室町(16世紀)	1	本館	原品:白山比咩神社
92		翁面	桃山～江戸(16～17世紀)	1	個人	
93		菩薩面(複製)	原品:平安～鎌倉(12～13世紀)	1	本館	原品:重蔵神社
94	◎	獅子頭	元亨2年(1322)	1	津波倉神社	
95	□	獅子頭	応安5年(1372)	1	白山神社	珠洲市宝立町春日野法住寺
96	△	王舞面	平安～鎌倉(12～13世紀)	1	白山神社	珠洲市宝立町春日野法住寺
97		朱漆塗瓶子	弘治2年(1556)	2	宝泉寺	
98	△	枡	室町(16世紀)	1	藤津比古神社	
99		蒔絵銭九曜紋長柄銚子	寛政7年(1795)	1	美麻奈比古神社	
100	△	山王二十一社神楽鈴	永正13年(1516)	1	大地主神社	蓬萊國近作
101		好古余録	明治28年(1895)	1	石川県立図書館	森田良見(平次)筆
102	□	白山万句懐紙	江戸(17世紀)	2	白山比咩神社	87巻のうち
103		翁舞図額	寛文4年(1664)	2	美麻奈比古神社	
104	□	三十六歌仙額	江戸(17世紀)	36	尾崎神社	
105	□	伊夜比咩神社相殿八幡社再興棟札	寛正6年(1465)	1	伊夜比咩神社	
106	◎	氣多大神宮遷宮棟札	永禄5年(1562)	1	氣多大社	
107		加越能社寺来歴	明治(19～20世紀)	1	金沢市立玉川図書館近世史料館	
108	□	畠山義綱判物	室町(16世紀)	1	氣多大社	
109		墨壺	寛永18年(1641)	1	大野湊神社	

夏季特別展

「画業 50 年“突破”記念 永井 GO 展」

マンガ界の鬼才・永井豪。社会現象を巻き起こした「ハレンチ学園」、マンガ界の歴史に燦然と名を残す「デビルマン」、巨大ロボットマンガの金字塔「マジンガーZ」など、さまざまなジャンルの作品を世に送り出しました。これまでに発表した作品数は 350 を超え、その無限ともいえる創造力は、現在も留まることを知りません。

画業 50 年突破を記念して開催する本展覧会では、デビュー作から最新作まで、貴重な直筆マンガ原稿、カラーイラストなど 600 点以上を展示。鬼、悪魔、ロボット、SF、ギャグ、魅力的なヒーロー・ヒロインたちをジャンル別に紹介しました。

このほか、「マジンガーZ」や「デビルマン」の世界観をイメージしたエリアや普段は表に出ることのない秘蔵資料なども紹介し、鬼才・永井豪が創り出したイマジネーションの世界を存分にお楽しみいただきました。



チラシ

主催	石川県立歴史博物館・北國新聞社・永井 GO 展実行委員会
協賛	BANDAI SPIRITS・バンダイ・バンダイナムコエンターテインメント・東映アニメーション・野崎印刷紙業・イーブックイニシアティブジャパン
特別協力	ダイナミックプロダクション・ダイナミック企画
企画協力	手塚プロダクション
会期	令和元年 7 月 20 日 (土) ~ 8 月 25 日 (日) 会期中無休
時間	9:00~17:00 (展示室への入室は 16:30 まで)
観覧料	《夏季特別展のみ》 一般 1,000 円 (800 円)、大学生・専門学校生 800 円 (640 円)、小・中・高生 300 円 (240 円) 《夏季特別展と常設展のセット料金》 一般 1,040 円、大学生・専門学校生 830 円 ※()内は 20 名以上の団体料金、65 歳以上は団体料金
会場	特別展示室・企画展示室・ギャラリー
展示構成	第 1 章 鬼と悪魔の黙示録 / 第 2 章 ヒロイン・ヒロイックサーガ / 第 3 章 笑劇奇譚 / 第 4 章 魔神伝説 / 第 5 章 OTHER WORKS / 第 6 章 現在進行形



展示室への階段



展示風景



展示風景



展示風景



展示風景



展示風景



展示風景



エントランス展示



展示風景



ギャラリー

秋季特別展
加賀前田家と北野天満宮

加賀前田家は菅原道真を祖と仰ぎ、元禄2年(1702)の天神800年御忌以来、50年に一度の御忌毎に京都の北野天満宮に太刀を奉納しました。本展では、前田家伝来の天神関係資料や、前田家が奉納した太刀五振をはじめとする北野天満宮の奉納品、三代利常が創建した小松天満宮および金沢二十五天神に関する品々を一堂に展示し、前田家の由緒・天神信仰と当地との関わりについて紹介しました。



チラシ

<p>会 期 令和元年9月14日(土)～11月4日(月・振) 前期：9月14日(土)～10月6日(日) 後期：10月8日(火)～11月4日(月・振) ※10月7日(月)は展示替えのため閉室</p> <p>時 間 9:00～17:00(展示室への入室は16:30まで)</p> <p>観 覧 料 《秋季特別展のみ》 一般800円(640円)、大学生640円(510円)、高校生以下無料 《秋季特別展と常設展のセット料金》 一般880円、大学生700円 ※()内は20名以上の団体料金、65歳以上は団体料金</p> <p>会 場 特別展示室・企画展示室・ギャラリー</p> <p>展示構成 プロローグ 利家と天神さん / 第1章 前田家のルーツをさぐる / 第2章 前田家と北野天満宮 第3章 小松天満宮の創建 / 第4章 金沢の天神さん / エピローグ 受け継がれた伝統</p> <p>催 物 記念講演会 (聴講無料・要申込) 「加賀前田家と北野天満宮」 日 時：9月14日(土) 13:30～15:00 講 師：藤井 譲治 (当館館長・京都大学名誉教授) 会 場：ワークショップルーム 聴講者：73名</p> <p>石川の歴史遺産セミナー (聴講無料・要申込) 「加賀前田家の天神信仰」 日 時：10月20日(日) 13:00～17:00 会 場：ワークショップルーム 聴講者：55名</p>	<p>れきはくゼミナール (聴講無料・申込不要)</p> <p>①「天神信仰の絵画」 日 時：9月21日(土) 13:30～15:00 講 師：北 春千代(当館学芸主幹) 聴講者：34名</p> <p>②「加賀前田家による京都北野社への太刀奉納」 日 時：10月26日(土) 13:30～15:00 講 師：塩崎 久代(当館学芸主任) 聴講者：46名</p> <p>展示解説 (要観覧料・申込不要) 日 時：9月15日(日)・10月5日(土)・10月22日(火・祝) 13:30～14:30 講 師：当館学芸員 会 場：特別展示室・企画展示室 参加者：9月15日：41名 10月5日：31名 10月22日：17名</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

博物館でお抹茶体験

日時：11月3日(日・祝)

①10:30~12:00 ②13:00~14:30

講師：山本 宗茂 氏 (茶道裏千家 教授)

場所：ほっとサロン

参加者：①：20名 ②：20名

ワークショップ「刀の鍔コースターをつくる！」

日時：10月20日(日)・10月26日(土)・11

月3日(日・祝)・11月4日(月・振)

9:30~11:30 / 13:00~16:15

会場：歴史体験ひろば

参加者：133名



会場入口



プロローグ



展示映像「国宝 天神さんものがたり」



第2章 前田家と北野天満宮



第3章 小松天満宮の創建



第4章 金沢の天神さん



開幕式



刀の鰐コースターをつくる！



展示解説



博物館でお抹茶体験

令和元年度秋季特別展

加賀前田家と北野天満宮

Autumn Special Exhibition 2019

The Connection between the Kaga Domain
Maeda Clan and the Kitano Tenmangu Shrine

2019年9月14日(土)→11月4日(月・振)

[前期]9月14日(土)～10月6日(日) [後期]10月8日(火)～11月4日(月・振)

- ・No.は図録の作品番号です。展示順とは一致していませんので、ご了承ください。
- ・都合により展示作品および展示期間が変更されることがあります。
- ・展示期間の記載のない作品は、全期間展示です。

プロローグ 利家と天神さん

No	指定	作品名	員数	制作年代	所蔵	展示期間
1		鉄打出二枚胴 伝前田利家所用	1領	江戸時代(17世紀)	尾山神社	
2	県指定	御定紋之考 井上尚賢筆	1冊	文政11年(1828)	金沢市立玉川図書館	
3		前田利家画像	1幅	江戸時代(17世紀)	尾山神社	前期
4	県指定	前田利家画像	1幅	桃山-江戸時代(16-17世紀)	開禅寺	後期
5		烏帽子兜	1頭	江戸時代(17世紀)	菅原神社	
6		面頬	1点	桃山時代(16-17世紀)	菅原神社	
7		御用札	1点	江戸時代	菅原神社	
8		菅原神社修復臨時祭礼承届状	1点	戊午(寛政10年(1798))5月	菅原神社	
9	県指定	東路記	1冊	江戸時代(17世紀)	金沢市立玉川図書館	

第1章 前田家のルーツをさぐる

No	指定	作品名	員数	制作年代	所蔵	展示期間
(1)前田家のルーツは天神さん!?						
10		前田利常画像	1幅	江戸時代(17-18世紀)	那谷寺	後期
11		前田利常画像	1幅	江戸時代	(公財)前田育徳会	前期
12		系図 真名	1巻	江戸時代(17世紀)	(公財)前田育徳会	前期
13		前田綱紀画像 下村観山筆	1幅	明治39年(1906)	(公財)前田育徳会	前期 (後期はパネル展示)
14		世譜	1巻	天和3年(1683)	(公財)前田育徳会	後期
15	重文	荏柄天神縁起絵巻 上巻	1巻 (3巻のうち)	元応元年(1319)	(公財)前田育徳会	前期
16	重文	荏柄天神縁起絵巻 中巻	1巻 (3巻のうち)	元応元年(1319)	(公財)前田育徳会	後期
17		菅家伝	1巻	元禄2年(1689)	(公財)前田育徳会	前期
18		大願十事	1点	元禄4年(1691)	(公財)前田育徳会	後期
19		菅公木像	1軀	江戸時代	(公財)前田育徳会	
参考		扁額「菅氏大宗祠」高泉性激筆 (パネル展示)	1点	江戸時代(17世紀)	天徳院	

(2)天神さんの物語

20	国宝	北野天神縁起絵巻 (承久本) 巻第一	1巻 (9巻のうち)	鎌倉時代(13世紀)	北野天満宮	後期
21	国宝	北野天神縁起絵巻 (承久本) 巻第二	1巻 (9巻のうち)	鎌倉時代(13世紀)	北野天満宮	前期
22		北野天神縁起絵巻 (平成記録本) 巻第四	1巻 (9巻のうち)	平成時代	北野天満宮	前期
23		北野天神縁起絵巻 (平成記録本) 巻第五	1巻 (9巻のうち)	平成時代	北野天満宮	後期

No	指定	作品名	員数	制作年代	所蔵	展示期間
24		菅家文草 巻第一・巻第三	2巻 (12巻のうち)	江戸時代(17世紀)	北野天満宮	巻第一(前期) 巻第三(後期)
25		天神名号「南無天満大自在天神」 後陽成天皇宸翰	1幅	桃山－江戸時代(16－17世紀)	北野天満宮	
26		天神名号「南無太政威徳天」 尊純親王筆	1幅	江戸時代(17世紀)	北野天満宮	
27	府指定	束帯天神像 伝藤原信実筆	1幅	南北朝－室町時代(14世紀)	北野天満宮	前期
28		綱敷天神像 元信印	1幅	江戸時代(17世紀)	北野天満宮	後期
29		束帯天神像・松梅図 狩野探幽・常信筆	3幅対	江戸時代(17世紀)、 松梅図は宝永2年(1705)頃	北野天満宮	
30		渡唐天神像 九淵龍蹊賛	1幅	室町時代(15世紀)	北野天満宮	
31		渡唐天神像 近衛信尹自賛	1幅	慶長15年(1610)	北野天満宮	
32		綱敷天神像 伝狩野元信筆	1幅	江戸時代(17世紀)	北野天満宮	
33		綱敷天神像 狩野常信筆・花山院賛	1幅	江戸時代(17世紀)	北野天満宮	

第2章 前田家と北野天満宮

No	指定	作品名	員数	制作年代	所蔵	展示期間
(1)近世北野社のにぎわい						
34		北野社頭図屏風	6曲1隻	桃山－江戸時代(16－17世紀)	北野天満宮	後期
35		北野・東山遊楽図屏風	6曲1双	江戸時代(17世紀)	北野天満宮	前期
36		北野大茶湯図 宇喜多一薫筆	1幅	天保14年(1843)	北野天満宮	後期
37		北野天満宮本社指図・地割図	1巻	寛文9年(1669)	北野天満宮	
38		北野天満宮社堂舎惣絵図	1枚	元禄13年(1700)	北野天満宮	
39		京都北野天満宮一万灯会之図	1面	江戸時代(19世紀)	北野天満宮	
(2)北野社の宿坊						
40		徳川家康 夢想連歌	1幅	慶長15年(1610)8月25日	北野天満宮	前期
41		徳川秀忠書状 能舜宛	1幅	江戸時代(17世紀)3月15日	北野天満宮	後期
42		橘松竹鶴亀蒔絵文台・硯箱	1具	桃山－江戸時代(16－17世紀)	北野天満宮	
43		年行事帳	1冊	元和元年(1615)7月15日	北野天満宮	
44		前田利光書状 能舜宛	1点	(元和8年(1622))6月29日	小松天満宮	
(3)天神さんへの奉納品						
45		紺紙金字法華経開結共 巻第八・観普賢経	2巻 (10巻のうち)	平安時代後期	北野天満宮	
		黒漆塗箱・金時絵箱	2合	元和4年(1618)7月吉日	北野天満宮	
46	重文	太刀 銘 恒次 附 金梨地糸巻太刀拵	1振	身：鎌倉時代(13世紀) 拵：元禄15年(1702)	北野天満宮	
		木地箱・拭漆塗箱・黒漆塗箱	3合		北野天満宮	
47	重文	太刀 銘 備前長船師光 応永9年 附 金置平目地鞘糸巻太刀拵	1振	身：応永9年(1402) 拵：宝暦2年(1752)	北野天満宮	
		太刀箱	1合		北野天満宮	
48		太刀 銘 清則作 文明18年8月 日 附 金置平目地鞘糸巻太刀拵	1振	身：文明18年(1486) 拵：享和2年(1802)	北野天満宮	
		太刀箱	1合		北野天満宮	
49	重文	太刀 銘 助守 附 金置平目地鞘糸巻太刀拵	1振	身：鎌倉時代(13世紀) 拵：嘉永5年(1852)	北野天満宮	
		太刀箱	1合		北野天満宮	
50		温敬公親筆菅公神号及景德夫人 画梅図	1幅	嘉永5年(1852)年2月25日	(公財)前田育徳会	後期
51		前田斉泰書	1幅	明治時代(19世紀)、 大正11年(1922)5月奉納	北野天満宮	前期
52		御神号 前田慶寧筆	1幅	江戸時代(19世紀)、 大正11年(1922)5月奉納	北野天満宮	
(4)太刀奉納の舞台裏						
53		宮仕記録	2冊	①元禄15年(1702)3月23日 ②享和2年(1802)2月25日	北野天満宮	

No	指定	作品名	員数	制作年代	所蔵	展示期間
54	県指定	大野木克寛日記 第30冊	1冊	宝暦2年(1752)	金沢市立玉川図書館	
55	県指定	政隣記 第9冊	1冊	宝暦2年(1752)	金沢市立玉川図書館	
56		刀剣装具原図	1冊	江戸時代	金沢美術工芸大学	
57		小柄絵本	5冊	江戸時代	金沢美術工芸大学	
58		鐔絵本	3冊	江戸時代	金沢美術工芸大学	
59		刀装具雛形筆筒	1点	江戸時代	金沢美術工芸大学	
60		旧藩御用太刀図面	1枚	嘉永3年(1850)	金沢美術工芸大学	
61		水野源六家文書より	6点	江戸時代	個人	
	①	北野天満宮御献納御太刀之絵図	1枚	享和2年(1802)	個人	
	②	真御太刀御金具図り書	1冊	享和2年(1802)4月	個人	
	③	御献納御太刀御金具細工割	1点	(嘉永4年)亥12月11日	個人	
	④	北野天満宮御献納御太刀拵方に付請書	1点	(嘉永3年)戌6月	個人	
	⑤	北野御献納御太刀拵方に付光の字名乗り願書	1点	(嘉永4年)亥4月	個人	
	⑥	御太刀御身預人々書上	1点	(嘉永4年)亥5月	個人	
62	県指定	北野天満宮御宝剣御箱等御図り書	1冊	明治時代写	金沢市立玉川図書館	
63	県指定	天満宮宝剣箱書文字折紙題付筈等写	7点	江戸時代(19世紀)	金沢市立玉川図書館	

第3章 小松天満宮の創建

No	指定	作品名	員数	制作年代	所蔵	展示期間
(1)連歌の聖地—小松梅林院—						
64		小松天満宮棟札	2枚	明暦3年(1657)	小松天満宮	
65		紅梅図額	1面	明暦3年(1657)	小松天満宮	
66		北野梅鉢鏡額(パネル展示)	1面	明暦3年(1657)	小松天満宮	
67		小松天満宮縁起	1巻	江戸時代(17-18世紀)	小松天満宮	
68	県指定	賦玉何連歌	1巻	明暦2年(1656)	小松天満宮	
69		菅公画像 伝法性房筆	1幅	色紙：明暦3年(1657)頃	(公財)前田育徳会	前期
70		梅林院絵図	1幅	天保9年(1838)7月	小松天満宮	
71		梅花硯	1合	江戸時代(17世紀)	小松天満宮	
72		梅花硯之記	1巻	元禄14年(1701)12月25日	小松天満宮	
73		北野拾葉	1冊	江戸時代(19世紀)	小松天満宮	
74		能順発句懐紙	1幅	元禄13年(1700)	小松天満宮	
75		天満宮霊像	1幅	享保11年(1726)奉納	小松天満宮	後期
(2)「連歌の宗匠」能順						
76		能順画像	1幅	江戸時代(18世紀)	小松天満宮	
77		沙汰承仕家系同別家之図	1枚	昭和3年(1928)写	北野天満宮	
78		八百年忌奉納連歌	5冊	元禄14年(1701)11月23日	北野天満宮	
79		松竹梅蒔絵文台・硯箱	1具	江戸時代(18世紀)	北野天満宮	
80	重文	楼閣人物沈金文台	1基	室町—桃山時代(16世紀)	小松天満宮	
81	重文	鳳凰沈金硯箱	1合	室町—桃山時代(16世紀)	小松天満宮	
82		知行所付 能順宛	1点	明暦2年(1656)11月14日	小松天満宮	
83		菅公御詠歌 能順筆	1幅	元禄16年(1703)9月吉辰	小松天満宮	
84		能順発句短冊(パネル展示)	1点	元禄15年(1702)2月15日	小松天満宮	
85		能順連歌発句	1幅	元禄15年(1702)2月 日	本館	
86		能順連歌幅	1幅	宝永3年(1706)	本館	
87		能順書状幅	1幅	(宝永2年(1705))卯月朔日	本館	
88		御神号「南無天満大自在天神」狩野探幽筆	1幅	江戸時代(17世紀)	小松天満宮	
89		聯玉集 乾坤 堤歎生編	2冊	江戸時代(18世紀)	小松天満宮	
90		能順自筆遺言状	2点	①貞享5年(1688)2月晦日 ②元禄16年(1703)6月15日	小松天満宮	
91		宮仕記録	1冊	宝永3年(1706)12月7日	北野天満宮	

第4章 金沢の天神さん

No	指定	作品名	員数	制作年代	所蔵	展示期間
(1) 金沢二十五天神						
92		増補改正 六用集	1枚	江戸時代(19世紀)	本館	
93		天満宮御祭礼二付獅子囃俄等 目録	1枚	慶応3年(1867)	本館	
94		北の梅(パネル展示) 水巻亭楚雀編	1冊	宝暦2年(1752)	早稲田大学図書館	
95		網敷天神像 高泉性激賛	1幅	江戸時代(17世紀)	椿原天満宮	
96		鏡天神像 朴中梵淳・学海帰才賛	1面	室町時代(15世紀)	西方寺	
97		網敷天神像 玉海賛	1幅	室町-江戸時代(16-17世紀)	泉野菅原神社	
98		奉納連歌懐紙	2点	明治3年(1870)、 明治5年(1872)	泉野菅原神社	
99		天満宮扁額	1面	天保10年(1839)9月11日奉納	泉野菅原神社	
参考		天満宮書幅(パネル展示)	1点	天保4年(1833)7月	小松天満宮	
100		束帯天神像	1幅	室町時代(15-16世紀)	白鬚神社	
101	県指定	天満宮御祭礼に付留書	1点	江戸時代(18-19世紀)	前田土佐守家資料館	
102	県指定	北野天満宮御年忌に付献上品等覚	1冊	江戸時代(18-19世紀)	前田土佐守家資料館	
103		宮形板絵束帯天神像	1基	元禄5年(1692)	長田菅原神社	
104		一文字天神刷物	1枚	昭和62年(1987)刷	崇禅寺	
参考		菅原山崇禅寺之景(『加能宝鑑』) 複製	1点	明治31年(1898)	崇禅寺	
105		天神縁起絵馬	1面	江戸時代(19世紀)	崇禅寺	
106		天神縁起絵馬	1面	江戸時代(19世紀)	崇禅寺	
(2) 兼六園に祀られた天神さん						
107		学校鎮守棟札	1枚	寛政6年(1794)	金沢神社	
108		竹沢鎮守古絵図	1幅	江戸時代(19世紀)	金沢市立玉川図書館	
109		前田斉広坐像	1軀	江戸時代(19世紀)	金沢神社	
110		束帯天神像	1幅	室町時代(15世紀)	金沢神社	
111		天神名号「南無天満大自在天神」 伏見天皇宸筆	1幅	鎌倉時代(13-14世紀)	金沢神社	前期
112	県指定	天神名号「南無天満大自在天神」 雪舟筆	1幅	室町時代(15世紀)	金沢神社	後期
113		天神名号「南無天満大自在天神」 徳川秀忠筆	1幅	桃山時代(16世紀)	金沢神社	前期
114		天神名号「南無天満大自在天神」 後水尾天皇宸筆	1幅	慶長7年(1602)	金沢神社	後期
115		前田家御寄合書	1幅	明治時代(19世紀)	金沢神社	

エピソード 受け継がれた伝統

No	指定	作品名	員数	制作年代	所蔵	展示期間
116		奉納北野天満宮宝前/ 太刀 銘 昭和2年2月侯爵前田利為 大阪住人月山貞勝謹作(花押) 附 金梨子地鳳凰螺鈿松梅紋蒔絵 飾太刀拵	1振	昭和2年(1927)奉納	北野天満宮	
		漆塗唐櫃	1合	昭和2年(1927)奉納	北野天満宮	



いしかわ赤レンガミュージアム

石川県立歴史博物館
ISHIKAWA PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY

(4) 企画展・スポット展示

企画展

「時代で巡るいしかわの工芸展 珠洲古陶 —その歴史と美—」

珠洲焼は、平安時代末期の12世紀に誕生した能登を代表する中世のやきものです。古代須恵器の焼成技術を受け継ぐことから「中世の須恵器」とも言われ、灰黒色に焼しめられた堅牢で堂々とした豪快な造りと、楯目文などのゆかしい装飾を駆使する様式美に特徴があります。

その製品は人びとの生活に欠かせない壺・甕・播鉢を主力商品にして北東日本海沿岸域に販路を広げ、太平洋側の常滑・渥美焼と商圈を二分しましたが、戦国時代の15世紀末にはその主役の座を越前焼にとって代われ、忽然と姿を消しました。

本展では、そうした活力に満ちた珠洲古陶の歴史と美の系譜を辿るとともに、その再興に取り組む現代作家の作品も展示し、工芸王国石川の一翼を担ってきた「やきもの史」の一端を紹介します。



会 期 令和元年11月17日(日)～12月15日(日) 会期中無休 ポスター
 時 間 9:00～17:00 (展示室への入室は16:30まで)
 会 場 特別展示室・企画展示室

記念講演会「王朝の美・秋草文壺の世界」(聴講無料・申込不要)

講 師：吉岡 康暢 氏 (国立歴史民俗博物館名誉教授)

日 時：11月17日(日) 13:30～15:00

会 場：企画展示室

参加者：50名



展示風景



展示解説

企画展

「れきはくコレクション2019」

当館では、石川県の歴史と文化に関わる資料を体系的に収集しています。本展では、2019年に寄附や購入で新たに収集した資料を公開しました。

会 期 令和2年2月1日（土）～3月15日（日） 会期中無休
会 場 企画展示室
開館時間 9:00～17:00（展示室への入室は16:30まで）
展示解説 2月29日（土）13:30～14:30
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止



ポスター



展示風景



展示風景



展示風景

スポット展示

「外貨をかせいだ工芸品」

会 期 令和2年1月4日（土）～3月15日（日） ※1月30日（木）、31日（金）休館
時 間 9:00～17:00（展示室への入室は16:30まで）
会 場 特別展示室
内 容 明治20年代輸出陶磁器の第一位となり「ジャパネクタニ」の名を世界に轟かせた輸出九谷を紹介
出品資料 花鳥十二ヶ月密画珈琲具 谷口金陽堂製 19～20世紀（明治～昭和時代）

さんば 「産婆さんの鞆」

会 期 令和2年1月4日（土）～1月19日（日）
時 間 9:00～17:00（展示室への入室は16:30まで）
会 場 企画展示室
内 容 大正末～昭和50年代に奥能登で活動した助産師の助産器具などから近代産婆について紹介
出品資料 助産用器具入り鞆（竹島みい使用）ほか 9点



左：外貨をかせいだ工芸品
右：産婆さんの鞆

他団体主催の展覧会

◆ギャラリー

「世界の大ミニカー」展 in 石川県立歴史博物館

主 催 Minicar Room 鉄田貴則
会 期 平成31年4月5日（金）～4月18日（木）
展示内容 国産スポーツカーのビッグスケールハイクオリティミニカー、世界の名車モデルカーやジオラマ他計150点
来 場 者 200人
関連事業 歴博敷地内での実車撮影会

「Dance Well」ワークショップ

主 催 Dance Well 石川実行委員会
会 期 令和元年5月11日（日）
展示内容 ダンスプログラム
来 場 者 20人

「ふれてみるいしかわ文化」展

主 催 石川県、（公財）いしかわ県民文化振興基金
共 催 加賀市
協 力 北陸日彫会、社会福祉法人石川県視覚障害者協会、石川県立盲学校、金沢市立小將町中学校特学分

校
後援 北國新聞社
会期 令和元年11月17日(日)～11月23日(土・祝)
展示内容 丹羽俊揮「青い瞳は忘れない」他計37点
来場者 1,828人
関連事業 クイズコーナー、アイルランド音楽とおはなし会、オカリナミニコンサート、
親子ふれあい彫刻ワークショップ

「Dance Well」ワークショップ

主催 Dance Well 石川実行委員会
会期 令和2年1月11日(日)
展示内容 ダンスプログラム
来場者 20人

2. 調査研究活動

(1) 紀要の発行

石川県立歴史博物館研究紀要 第29号(令和2年5月29日発行)

【論文】美人ツーリズムの成立(下) — 廓消費の近代 —	大門 哲
【研究ノート】アイヌ像を描く絵馬 — 能登・越後の遺例から —	戸潤 幹夫
【史料紹介】加賀藩人持組 青山家文書	塩崎 久代
梅津茂雄収集上布コレクション	大井 理恵

(2) 石川の歴史遺産セミナー

博物館活動の充実を図るため、県内外の研究機関並びに研究者の協力を得ながら、当地の新しい歴史像の創造に寄与できる歴史的課題に取り組み、公立博物館としての専門性と情報発信機能を強化するとともに、地域の人々が身近な地域遺産に学び、自発的で豊かな文化活動が展開できるよう文化力向上を図る。

令和元年度

第31回石川の歴史遺産セミナー

テーマ「気多神の原像を探る」

令和元年5月25日(土) 13:00~17:00 (於:当館ワークショップルーム) 参加者:76名

「寺家遺跡と周辺の古代景観」 羽咋市教育委員会学芸員 中野 知幸 氏

「古代気多の神と寺家遺跡—古代の神観と祭祀の構成を手がかりに—」

國學院大學神道文化学部教授 笹生 衛 氏

「寺家遺跡の諸問題」

石川考古学研究会会長 小嶋 芳孝 氏

第32回石川の歴史遺産セミナー

テーマ「加賀前田家の天神信仰」

令和元年10月20日(日) 13:00~17:00 (於:当館ワークショップルーム) 参加者:55名

「加賀前田家の系図編纂と姓の変遷」 大阪城天守閣学芸員 岡嶋 大峰 氏

「前田育徳会所蔵の天神関係資料」 公益財団法人前田育徳会主幹 菊池 浩幸 氏

「加賀藩の連歌—小松天満宮を中心に—」 筑波大学知識情報・図書館学類教授 綿抜 豊昭 氏

(3) 国際交流事業

韓国国立全州博物館との交流

大韓民国国立全州博物館と当館が平成3年1月15日に締結した姉妹館協約に基づき、両館の学術的、文化的交流と親善、ならびに環日本海文化の共同研究を目的として交流員を相互派遣し、交流記念展についての打ち合わせや、専門分野に関連した文化施設、史跡などの視察を行った。

【学芸員の交流】

令和元年度

韓国国立全州博物館 学芸研究士 金 王國 来県

受入期間:令和元年12月8日(日)~12月13日(金)

石川県立歴史博物館 学芸主任 石田 健を全州博物館に派遣

派遣期間:令和元年10月27日(日)~11月1日(金)

3. 資料収集保管活動

(1) 収集資料一覧

令和元年度

購入資料

分類	資料名称	点数	年代
1	美術品 壁土細工菊文様付短冊箱	1	江戸時代後期

計1件1点

寄贈資料

分類	資料名称	点数	年代
1	美術品 鎌倉塗菊の高杯 村上九郎作 作	1	明治31～33年頃
2	美術品 鎌倉塗蓮の大盆 村上九郎作 作	1	明治31～33年頃
3	美術品 鎌倉塗蘇鉄葉形に紅葉の大盆 村上九郎作 作	1	明治31～33年頃
4	美術品 鴛鴦の大盆 村上九郎作 作	1	明治31～33年頃
5	美術品 人物・花鳥・山水貼交中屏風	6曲1双	江戸時代末期～明治時代
6	考古資料 石谷文夫採集考古資料	2370	縄文時代～中世
7	歴史資料 第2回国民体育大会ポスター	1	昭和22年
8	歴史資料 吉川悦陽写真資料	891	昭和12～40年
9	民俗資料 軒行灯(行灯型看板)	1	明治時代後期
10	民俗資料 杉松楼閣海に舞鶴文様打掛	1	昭和時代初期
11	民俗資料 菊に桐鳳凰文様打掛	1	昭和時代初期
12	民俗資料 菊に松鳳凰文様振袖	1	昭和時代初期
13	民俗資料 ツルカメ	1組	昭和54年
14	民俗資料 梅津茂雄氏収集上布コレクション	190	大正～昭和40年代

計14件3462点

(2) 資料の保存

◆ガス燻蒸消毒／防虫処理作業

平成18年度から、通常のガス燻蒸を中止し、特殊テントの中に炭酸ガス（二酸化炭素＝CO₂）を2～3週間充填し、酸欠による窒息で殺虫を行う方式に改めた。これまで実施してきた館内定点モニタリングと清掃作業の成果により、人体や環境への影響が懸念される化学薬品への依存を最小限にとどめるものである。また、害虫の侵入しやすい経路に対して薬剤散布による予防や、館内定点モニタリングの継続・実施により、虫菌類被害の予防に努めている。なお平成27年度より能登高等学校柳田校舎内の体育館を外部収蔵庫とし、環境調査を行った。また、平成31年度は緊急対応としてヴァイケーン（フッ化スルフリル）による薬剤燻蒸を実施した。

(炭酸ガス殺虫)

- ① 作業概要 床面積4m×4mに高さ2mの32m³の容量を持つテントに炭酸ガス(CO₂)を充填し、殺虫処理を行う。
- ② 作業の実施 令和元年度は2回実施(10月11日～10月25日、3月17日～3月31日)。作業時間は約2週間、使用炭酸ガス量は50kg。

(ヴァイケーン殺虫)

- ① 作業概要 床面積2m×3mに高さ1.5mの9m³の容量を持つテントにヴァイケーンを充填し、殺虫処理を行う。
- ② 作業の実施 令和元年度は1回実施(4月20日～22日)。作業時間は48時間、使用ヴァイケーン量は1kg。

(環境調査モニタリング)

- ① 本館
 - (ア) 実施場所 第1～3棟の収蔵室と展示室、および 正面受付と各棟出入口
 - (イ) 調査方法 I. 害虫調査 調査区域に補虫トラップを設置し、2～3週間後に回収する。また、各室の埃を採取する。
II. 菌類調査 多孔板衝突法により浮遊菌を採取。付着菌は各室5ヶ所でCP加ポテトデキストロース寒天培地を床面にあてて採取。
III. 浮遊粒子調査 各室1～2ヶ所パーティクルカウンターにより空気を採取し、0.5及び5.0ミクロンの2粒子を測定する。
 - (ウ) 調査期間 令和元年度は年2回(6月26日、10月30日)実施
 - (エ) 結果報告 翌月中に調査ごとの分析結果を書面で報告。年度全体の分析から翌年度の対策計画に反映させる。
- ② 柳田収蔵庫
 - (ア) 実施場所 体育館のみ
 - (イ) 調査方法 I. 害虫調査 調査区域に補虫トラップを設置し、2～3週間後に回収する。また、各室の埃を採取する。
II. 菌類調査 エアースンプラーにより浮遊菌を採取。付着菌は10ヶ所でCP加ポテトデキストロース寒天培地を床面にあてて採取。
III. 浮遊粒子調査 2ヶ所パーティクルカウンターにより空気を採取し、0.5及び5.0ミクロンの2粒子を測定する。
 - (ウ) 調査期間 令和元年度は年1回(10月30日)実施
 - (エ) 結果報告 翌月中に調査ごとの分析結果を書面で報告。年度全体の分析から翌年度の対策計画に反映させる。

(害虫など防除作業)

- ① 各棟進入経路への薬剤散布
 - ア. 実施場所 各棟 出入口・非常口、渡り廊下出入口
 - イ. 実施期間 平成31年8月(1回)
 - ウ. 実施方法 ピレスロイド系薬剤をハンドスプレーにより噴霧。
- ② 防塵用ソールマットの設置
 - ア. 設置場所 特別収蔵庫、文献図書室、古文書室、第1収蔵庫、第2収蔵庫
 - イ. 設置方法 各室入口に微粘性ソールマット(30シート1綴り)を設置し、付着した埃や菌を吸着する。

(3) 館蔵資料分類表

(R2331)

収集年度 資料区分		平成28年度末 資料総数	平成29年度 収集資料数	平成30年度 収集資料数	令和元年度 収集資料数	資料総数
美術	購入 寄付	11,781	0 1	1 2	1 5	11,791
考古	購入 寄付	5,921	0 0	0 727	0 2,370	9,018
歴史	購入 保管換 寄付	73,206	1 0 750	0 0 1,023	0 0 892	75,872
民俗	購入 寄付	28,346	0 12	0 0	0 195	28,553
自然	購入 寄付	92	0 0	0 0	0 0	92
模型	購入 寄付	212	0 0	0 0	0 0	212
パネル	購入 寄付	187	-187 (廃棄)	0 0	0 0	0
視聴覚室 その他	購入 寄付	10,152	0 0	0 0	0 0	10,152
図書	購入 寄付	2,385 58,170	37 1,452	38 1,447	0 807	2,460 61,876
合計		190,452	2,066	3,238	4,270	200,026

(4)貸与資料一覧

貸与先	資料名	目的	期間
石川四高記念文化交流館	四高関係資料 115点	石川四高記念文化交流館で展示するため	H31.4.1～R2.3.31
(公財)石川近代文学館	雑誌「少女の友」 28点	石川近代文学館で展示するため	H31.4.1～R2.3.31
珠洲市立珠洲焼資料館	カメワリ坂窯陶片 4箱	珠洲市立珠洲焼資料館で展示するため	H31.4.1～R2.3.31
能美市教育委員会	馬の線刻のある壺ほか 2点	能美市立歴史民俗資料館で展示するため	H31.4.1～R2.3.31
(公財)藩老本多蔵品館	黒漆塗投頭巾形兜ほか 2点	特別展「大坂の陣前後の加賀藩」で展示するため	H31.4.22～R1.6.12
金沢ふるさと偉人館	牛乳屋引札 1点	企画展「金沢の文明開化」で展示するため	H31.4.24～R1.7.18
射水市新湊博物館	一閑張望遠鏡ほか 6点	企画展「夜空を見上げて」で展示するため	R1.6.14～R1.9.13
前田土佐守家資料館	宝暦銀札ほか 4点	企画展「十代加賀藩主前田重教と前田土佐守家」で展示するため	R1.7.6～R1.9.24
(公財)石川近代文学館	泉鏡花書簡 1点	企画展「恋するいしかわー恋の詩歌と物語ー」で展示するため	R1.7.8～R1.12.3
奥の細道サミットin金沢実行委員会	矢田四如軒画芭蕉像ほか 3点	企画展「奥の細道の世界」で展示するため	R1.7.12～R1.7.16
石川県立美術館	青山吉次画像(個人蔵)ほか 2点	特集展示「描かれた人物・さまざまな表現」で展示するため	R1.7.22～R1.9.4
博物館 明治村	毛理嶋山官軍大勝利之図ほか 4点	特別展「博物館 明治村×るろうに剣心」で展示するため	R1.7.25～R1.12.19
(公財)藩老本多蔵品館	本多家家中馬駿ほか 2点	特別展「本多政長ー加賀本多家の礎ー」で展示するため	R1.9.9～R1.12.17
小松市立博物館	松尾芭蕉書状幅ほか 4点	特別展「おくのほそ道330年 芭蕉とこまつ」で展示するため	R1.9.10～R1.11.27
前田土佐守家資料館	三十六人歌合写 1点	企画展「冷泉家と前田土佐守家」で展示するため	R1.9.24～R1.12.16
福井市立郷土歴史博物館	加賀藩大名行列図屏風ほか 4点	特別展「将軍家茂と皇女和宮」で展示するため	R1.9.30～R1.12.13
珠洲市立珠洲焼資料館	珠洲「十大」刻文研磨壺ほか 11点	特別展「珠洲焼」で展示するため	R1.10.1～R1.11.11
石川県銭屋五兵衛記念館	英国製ランプほか 6点	日本遺産認定記念展「北加賀の海商たち」で展示するため	R1.10.21～R2.2.3
金沢海みらい図書館	船旗ほか 11点	企画展「祝'日本遺産認定金沢市県内寄港地編」で展示するため	R1.10.23～R1.11.7
前田土佐守家資料館	福鼠戯寿語六 1点	企画展示「新春を祝う」で展示するため	R1.12.16～R2.1.27
前田土佐守家資料館	前田綱紀書状幅ほか 6点	企画展「加賀藩土と能」で展示するため	R2.1.27～R2.4.20

計21件218点

(5)写真貸与・特別利用状況

種別	点数
写真掲載・放映	115件155点(うち非館蔵品11件17点)
閲覧	4件104点(うち非館蔵品1件1点)
撮影	31件565点(うち非館蔵品3件30点)

計150件824点

4. 教育普及活動

(1) 一般広報

■新聞・広報誌・雑誌などへの掲載

新聞（一般記事・情報案内記事・県庁広報記事）
広報いしかわ、商工石川など県発行の広報誌
各種情報誌、タウン情報誌、歴史・美術系雑誌

■テレビ・ラジオでの広報

県広報番組、ニュース番組、情報番組

■マスコミへの情報提供

県庁文教記者クラブ加入の14社に随時情報を提供。
県内放送局及び新聞社に随時情報を提供。

■インターネットによる情報提供

当館ホームページ・Twitter で最新情報を公開
各種観光・イベント情報 Website への掲載

■広報誌「石川れきはく」の発行（年4回）

県内教育委員会、県内図書館・公民館・博物館その他公共施設、れきはくメイト会員

■「れきはくメイト情報」の発行（年7回）

れきはくメイト会員への各種案内

■ポスター、チラシの配布

北陸3県の教育委員会・小中学校、県内図書館・公民館・博物館その他公共施設、宿泊関係施設、県内商店街、県内市町観光関係所管課、県内のコンビニエンスストア 他

■学校向けちらしの作成・配布

石川県立美術館と共同でチラシを作成し、北陸3県の小中学校等に配布

■新聞広告

(2) 出版

■機関誌「石川れきはく」 規格:A4 頁数:6ページ 発行部数:1,100部

令和元年度はNo.129～132を発行し、関係機関やれきはくメイト(友の会)等に配布した。



129号



130号



131号



132号

(3) 案内解説・レファレンス

①団体への案内解説

案内解説を希望する団体へは、見学前に解説員が館概要と見どころを説明している（予約制）。個人に対しては音声ガイド*（無料）を勧めている。

専門的な内容の案内、および学術関係の問い合わせには学芸員が対応している。学校団体入館者向けに、展示室で利用できるワークシート「いしかわれきはくガイド」を配布している（ホームページからダウンロード可）。

②外国人観覧者に対する解説

常設展示室のパネルの解説は、コーナー名称は4か国語（日本語・英語・中国語・韓国語）で示しているが、コーナーの解説文・資料名は2か国語（日本語・英語）のみであるため、音声ガイドにより外国人の観覧者への対応をしている。

また、インバウンド需要に対応するため、ホームページに外国語ページ（上記4か国）を追加し、公開を始めた。

*音声ガイド…4か国語（日本語・英語・中国語・韓国語）対応、資料60点分の解説を収録
1点あたり約3分、全3時間

(4) 講座

れきはくゼミナール

れきはくゼミナールを次のように開催した。

1. 対象・定員 どなたでも 定員なし
2. 開催期日 毎月1回 土曜日(全11回)
(3月は月2回) 13:30～15:00
3. 受講料 無料
4. 会場 当館ワークショップルーム
5. 講師 当館学芸員
6. 講座内容 別表のとおり

No.	開催日	テーマ	担当者	参加者
1	6月15日	魔法の「お金」—江戸時代の米—	濱岡 伸也	45名
2	7月13日	近世遺跡のやきもの —前田氏領内の“九谷焼”—	野村 将之	23名
3	8月17日	加賀美人—イメージの歴史—	大門 哲	34名
4	9月21日	天神信仰の絵画	北 春千代	34名
5	10月26日	加賀前田家による 京都北野社への太刀奉納	塩崎 久代	46名
6	11月9日	三代の石川県令と改租事業	石田 健	34名
7	12月21日	古代の玉文化と碧玉製品	三浦 俊明	40名
8	1月18日	石動山信仰	岡崎 道子	46名
9	2月15日	戦後の地芝居と地役者	大井 理恵	19名
10	3月14日	謎の豪族羽咋君	永井 浩	中止
11	3月21日	北前船交易とアイヌ文化	戸淵 幹夫	中止



令和元年度 第4回れきはくゼミナール

学芸員によるワンポイント解説

常設展のスポット解説を次のように開催した。

1. 対象・定員 どなたでも 定員なし
2. 開催期日 毎月1回 金曜日(全11回)
13:30～14:00
3. 受講料 常設展観覧料
4. 会場 当館常設展示室
5. 講師 当館学芸員
6. 内容 別表のとおり

No.	開催日	テーマ	担当者	参加者
1	5月24日	青柏祭と人形見	大井 理恵	18名
2	6月21日	渤海使と古代の湊	三浦 俊明	13名
3	7月26日	江戸時代の塩	濱岡 伸也	21名
4	8月23日	環状木柱列の謎にせまる	野村 将之	18名
5	9月27日	能登畠山氏と七尾	北 春千代	21名
6	10月25日	難船絵馬 —お礼参りが大切な金比羅さん—	戸淵 幹夫	14名
7	11月22日	堅田館のお正月	岡崎 道子	16名
8	12月20日	当屋祭りと如月祭り	大門 哲	7名
9	1月24日	「美術工業」の時代	石田 健	17名
10	2月21日	金沢町人の暮らしと文化	塩崎 久代	22名
11	3月27日	墨書土器と木簡	永井 浩	中止



令和元年度 第7回学芸員によるワンポイント解説

県民大学校歴史講座 受講者数：18名

石川県の歴史と文化について、基礎的な理解を深める専門講座とした。

1. 対象・定員 どなたでも 50人まで
2. 開催期間 11月～1月の間に10回開催
水曜日 13:30～15:30
3. 参加費 3,000円 (テキスト代を含む)
4. 会場 当館ワークショップルーム
5. 講師 当館学芸員
6. 講座内容 別表のとおり

No.	開講日	テーマ	担当者
1	11月13日	石川の原始	野村 将之
2	11月20日	石川の古代 I	三浦 俊明
3	11月27日	石川の古代 II	永井 浩
4	12月4日	石川の中世 I	岡崎 道子
5	12月11日	石川の中世 II	北 春千代
6	12月18日	石川の近世 I	濱岡 伸也
7	12月25日	石川の近世 II	塩崎 久代
8	1月15日	石川の民俗 I	大門 哲
9	1月22日	石川の民俗 II	大井 理恵
10	1月29日	石川の近現代	石田 健

古文書講座

古文書の読み方や内容を分かりやすく解説する講座を、前期と後期の2回実施した。



令和元年度 古文書講座（前期第2回）

	開催日	テーマ	担当者
前期	5月16日	越中放生津 綿屋彦九郎の廻船事業を読もう	濱岡 伸也
	6月20日		
	7月4日		
	8月1日		
	9月5日		
後期	2月19日	加賀藩士の古文書を読む - 青山家文書 -	塩崎 久代
	3月4日		
	3月18日		

※3月4日・3月18日は延期

(5) 博学連携事業

◆学習用資料貸出事業

学校や教育関係機関に当館所蔵のレプリカ資料を貸し出すことで、歴史をより身近なものに感じてもらう。

貸出先学校・施設	貸出期間	資料名(数量)
デイサービス学研ココファン 金沢鞍月	令和元年9月7日～18日	昔の道具 其の壺(5点)、其の四(4点) 計9点
能美市立歴史民俗資料館	令和元年9月18日～27日	複製装飾付大刀(1点)、王冠(1点) 計2点

◆職場体験事業受け入れ事業(R元年度)

職場体験(中学生)

学校名	期間	受入人数
金沢市立紫錦台中学校	6月19日(水)～21日(金)	3名
金沢市立清泉中学校	7月24日(水)～26日(金)	4名

インターンシップ

学校名	期間	参加者
金沢大学	8月21日(水)	5名
富山大学	8月21日(水)	1名
東北大学	8月21日(水)	1名
金沢星稜大学	8月21日(水)	1名
京都女子大学	8月21日(水)	1名



職場体験

(6) ワークショップ（無料/一部を除いて事前申込制）

	実施日	テーマ	参加人数
1	令和元年8月11日(日)	人型ロボット NAO を動かしてみよう	26名
2	令和元年10月20日(日)・ 26日(土)・11月2日(土)・ 3日(日)	刀の鏝コースターをつくる! (申込不要)	計133名
3	令和2年2月8日(土)	金花糖の色付け体験 (有料: 500円)	34名

(7) 博物館実習

期間

令和元年7月29日(月)～8月3日(土)

実習生

八洲学園大学	生涯学習学部生涯学習学科	1人
大阪国際大学	国際教養学部国際観光学科	1人
京都府立大学	文学部日本中国文学科	1人
愛知県立大学	日本文化学部歴史文化学科	1人
筑波大学	人文・文化学群人文学類	1人
	合計	5人



月日	時間	実習内容
7月29日 (月)	9:00～9:10	開講式
	9:10～9:40	オリエンテーション
	9:50～10:50	歴史博物館の使命と業務
	11:00～12:00	展覧会の企画と運営
	13:00～15:20	館内施設見学
7月30日 (火)	15:30～16:30	博物館の教育普及活動
	16:30～17:00	レポート作成
	9:00～12:00	歴史資料の取り扱い実習
7月31日 (水)	13:00～16:30	美術品の取り扱い実習
	16:30～17:00	レポート作成
	9:00～12:00	民俗資料の取り扱い実習
8月1日 (木)	13:00～16:30	考古資料の取り扱い実習
	16:30～17:00	レポート作成
	9:00～10:00	博物館資料の保存修復
8月2日 (金)	10:20～12:00	文化財保存修復工房の見学
	13:00～16:30	資料保存実習
	16:30～17:00	レポート作成
8月2日 (金)	9:00～12:00	写真撮影実習
	13:00～16:30	資料梱包実習
	16:30～17:00	レポート作成
8月3日 (土)	9:00～12:00	資料整理実習
	13:00～14:00	博物館と各種法令
	14:10～15:10	博物館の文化財保存環境
	15:20～16:00	質疑応答・総評・閉講式
	16:00～17:00	レポート作成

(8) れきはくメイトの運営

令和元年度

会員年齢構成

年齢層	性別		合計	%
	男	女		
～10代	0人	0人	0人	0%
20代	1	1	2	0.7
30代	2	1	3	1.0
40代	9	9	18	6.2
50代	10	8	18	6.2
60代	47	36	83	28.6
70代	72	46	118	40.7
80代	30	11	41	14.1
90代～	4	2	6	2.1
不明	1	0	1	0.3
合計	176人	114人	290人	100.0%

会員住居地区別構成

地区名	人数	地区名	人数	地区名	人数
(県内)		七尾市	2	(県外)	
金沢市	204	中能登町	2	富山県	10
加賀市	1	能登町	2	福井県	1
小松市	7	輪島市	1	福島県	1
白山市	23	珠洲市	2	滋賀県	1
能美市	3	志賀町	2	兵庫県	1
野々市町	7	穴水町	0	京都府	1
内灘町	7				
津幡町	4				
かほく市	5	県内		県外	
宝達志水町	2	(小計)	275	(小計)	15
羽咋市	1			総計	290

れきはくメイト情報の発行

号数	発行日	主な内容
203号	4月18日	春季特別展「いしかわの神々―信仰と美の世界―」・今年度の催し物案内
204号	5月15日	初夏の歴史散歩
205号	7月12日	夏季特別展「画業50年“突破”記念永井GO展」・初夏の歴史散歩報告
206号	9月4日	秋季特別展「加賀前田家と北野天満宮」・秋の歴史散歩
207号	9月19日	秋のバスツアー・いしかわ県民大学校
208号	11月11日	企画展「珠洲古陶―その歴史と美―」・秋の歴史散歩報告
209号	1月22日	企画展「れきはくコレクション2019」・秋のバスツアー報告

メイト情報 206

バスツアー・歴史散歩

☆歴史散歩
6月24日

「前田家ゆかりの寺―妙成寺をめぐる―」
対 象：れきはくメイト
担 当：当館学芸員
講 師：当館学芸員
参加料：3800円（バス代・拝観料・特別拝観代）
行 程：金沢駅金沢港口―妙成寺散策―金沢駅金沢港口

☆歴史散歩
10月10日

「金沢駅前の寺社をめぐる―天神社の明治維新―」
対 象：れきはくメイト
担 当：当館学芸員
講 師：当館学芸員
参加料：500円（観覧料）
行 程：白鬚神社―平岡野神社―放生寺

★バスツアー
10月30日

「今庄・丸岡を巡る旅」
対 象：れきはくメイト
担 当：当館学芸員
講 師：当館学芸員
参加料：9500円（バス代・観覧料）
行 程：金沢駅金沢港口―今庄宿―昼食―丸岡城―丸岡歴史民俗資料館・日本一短い手紙の館―金沢駅金沢港口

(9) れきはくボランティア

市民の交流や協働、生涯学習の場として開かれた博物館を目指し、平成 18 年度よりボランティアを公募している。学校団体見学が増加する春季・秋季にそれぞれ募集し、「歴史体験ひろば」内で主に小・中学生を対象に解説、体験学習の補助を行ってきたが、国内外から訪れる一般観光客への案内も行っている。また、平成 27 年度夏季からは広報活動の補助も新たに加わり、展覧会チラシ・ポスターの配布活動を行っている。

令和元年度 ボランティア活動

春季 活動期間：令和元年 4 月 15 日（月）～6 月 14 日（金）

事前研修：4 月 8 日（月）

参加人数：17 人

秋季 活動期間：令和元年 9 月 9 日（月）～11 月 15 日（金）

事前研修：9 月 9 日（月）

参加人数：17 人

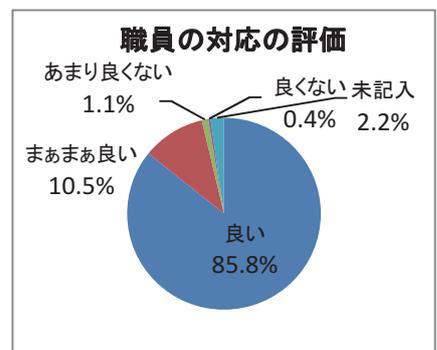
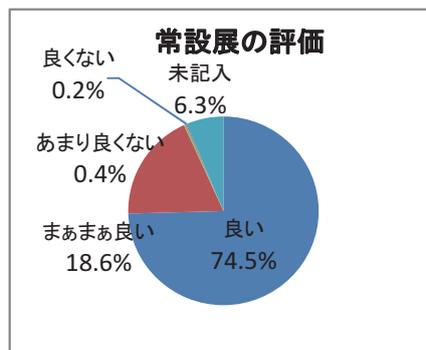
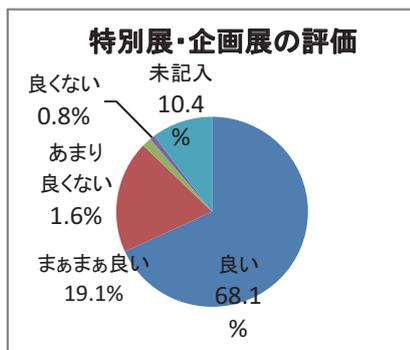


ボランティア活動の様子（歴史体験ひろば）

(10) 入館者調査(アンケート)

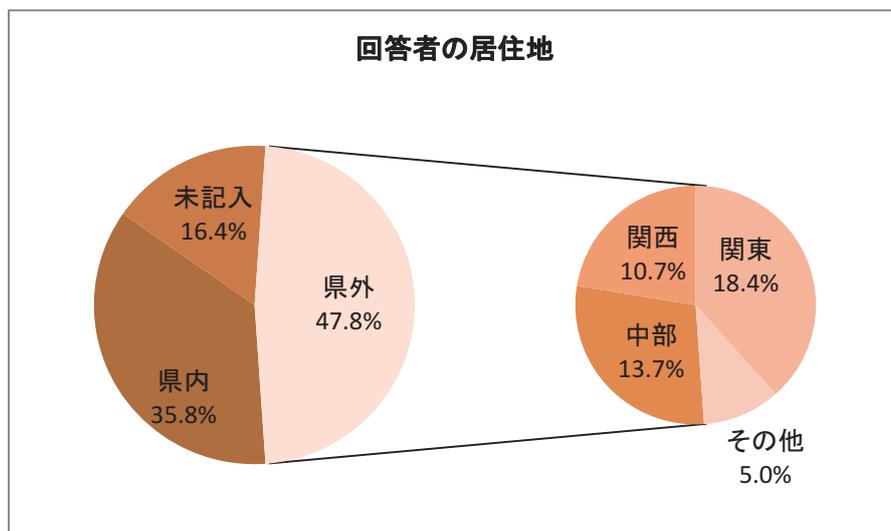
年間を通し、アンケート用紙に記入する方式で、来館者調査を行った。来館者に展覧会および博物館の評価と、来館者の情報を記入してもらった。評価は良い、まあまあ良い、あまり良くない、良くないの選択式と自由記述により、特別展・企画展の開催期間中は特別展・企画展と常設展・フリーゾーンについて、常設展のみの期間は常設展とフリーゾーンについて回答してもらった。下はその評価と、回答者の居住地を表・グラフにしたものである。

特別展の評価	良い	まあまあ良い	あまり良くない	良くない	未記入	回答数 (%)
春季特別展	55 79.7%	10 14.5%	0 0.0%	1 1.4%	3 4.3%	69 100.0%
夏季特別展	29 56.9%	11 21.6%	1 2.0%	1 2.0%	9 17.6%	51 100.0%
秋季特別展	62 71.3%	15 17.2%	2 2.3%	0 0.0%	8 9.2%	87 100.0%
珠洲古陶-その歴史と美-	16 57.1%	7 25.0%	1 3.6%	0 0.0%	4 5.7%	28 100.0%
れきはくコレクション 2019	9 25.0%	5 65.0%	0 5.0%	0 0.0%	2 5.0%	16 100.0%
計 (%)	171 68.1%	48 19.1%	4 1.6%	2 0.8%	26 10.4%	251 100.0%
常設展の評価	404 74.5%	101 18.6%	2 0.4%	1 0.2%	34 6.3%	542 100.0%
職員の対応の評価	465 85.8%	57 10.5%	6 1.1%	2 0.4%	12 2.2%	542 100.0%



回答者の居住地

県内	県外	未記入	中部	関西	関東	その他	計
107 35.8%	143 47.8%	49 16.4%	41 13.7%	32 10.7%	55 18.4%	15 5.0%	299 100.0%



5. 入館者状況

(1)令和元年度 いしかわ赤レンガミュージアム(歴史博物館・加賀本多博物館)入館者状況

歴史博物館

	有料						無料			小計	合計 (カウンター数)
	常設展			特別展	計	常設展	特別展	計			
	歴博単独券	本多共通券	計								
4月	866	946	1,812	春	769	2,581	1,450	281	1,731	4,312	14,912
5月	1,939	1,159	3,098		5,346	8,444	4,127	3,437	7,564	16,008	20,720
6月	829	779	1,608		515	2,123	1,372	198	1,570	3,693	10,599
7月	698	821	1,519	夏	2,317	3,836	1,230	244	1,474	5,310	11,590
8月	1,758	1,706	3,464		3,660	7,124	1,955	764	2,719	9,843	16,950
9月	1,096	941	2,037	秋	1,388		1,772	1,344	3,116	3,116	11,645
10月	987	877	1,864		1,862	3,726	6,908	5,371	12,279	16,005	18,091
11月	1,158	972	2,130		608	2,738	3,774	600	4,374	7,112	15,947
12月	780	453	1,233		0	1,233	565	0	565	1,798	7,639
1月	519	624	1,143		0	1,143	518	0	518	1,661	7,047
2月	621	638	1,259		0	1,259	733	0	733	1,992	8,393
3月	358	511	869		0	869	265	0	265	1,134	8,274
年計	11,609	10,427	22,036		16,465	35,076	24,669	12,239	36,908	71,984	151,807

歴史博物館 特別展のみ入場内訳

特別展名	有料	無料	特別展計
春季特別展	6,630	3,916	10,546
夏季特別展	5,977	1,008	6,985
秋季特別展	3,858	7,315	11,173
計	16,465	12,239	28,704

(2) 小・中・高等学校地区別入館者数

※個人を含む

地区	校種	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計		入館者の割合 %
		校	人	校	人	校	人	校	人	校	人	
加賀地区(野々市市・白山市以南)		55	3,089	8	177	1	22	2	49	66	3,337	26
金沢		32	2,197	12	480	3	246	3	19	50	2,942	23
能登地区(河北郡以北)		30	1,393	4	61	0	15	1	9	35	1,478	11
富山県		46	2,772	33	988	0	41	5	56	84	3,857	30
福井県		1	14	6	117	0	0	0	0	7	131	1
その他		0	416	5	455	2	203	1	22	8	1,096	9
合計		164	9,881	68	2,278	6	527	12	155	250	12,841	100

Ⅱ 施設概況

1. 設備概況

●受変電設備	受電電圧 6.6kV 変圧器容量 800kVA
●発電機設備	ディーゼル機関 1800mi ⁻¹ 発電機 300kVA 3相交流
●蓄電池設備	ベント型効率放電用ペースト式 据置型鉛蓄電池H-200A 54セル
●動力設備	動力設備 648kVA (一般 311kVA[エレベーター含] 24h負荷215kVA 防災負荷122kVA)
●電灯設備	照明器具 352台 (展示室内照度最高 150Lx 執務室内照度最高 750Lx)
●照明設備	展示室内 LED 、執務室・バックヤード 高効率型蛍光灯・一般型蛍光灯
●構内交換設備	192回線 (局線 1回線/INS1回線/多機能28回線/内線21回線)
●放送設備	防災アンプ 480W / 3棟用アンプ 30W
●I T V設備	ネットワークカメラ 屋内40台 モニター32型
●テレビ・ラジオ共聴設備	アンテナ UHF -20EL FM - 5EL AMハイプ
●来客カウンター設備	カウンター 8回線 / 3棟用 4回線 センサー 1棟4箇所 / 2棟1箇所 / 3棟1箇所(本多蔵品館1箇所)
●自動火災報知設備	GR型受信機(アナログ式、自動試験機能) 表示監視0A卓 19型TFTカラー
●給水設備	便所の便器洗浄系統……市水直結方式 手洗い・飲料系統……加圧給水方式
●給湯設備	電気温水器による局所方式
●排水設備	建物内分流方式、公共下水道放流
●消火設備	屋内消火栓……第一棟、第二棟 ハロゲン消火……第二棟の特別収蔵室、古文書室 スプリンクラー……第三棟
●排煙設備	機械排煙……第一棟、第二棟、第三棟 (3系統)
●融雪設備	井水散水方式、電熱線方式
●昇降機設備	第一棟……機械室レス、身障者用、13人乗り 第一棟、第二棟……油圧式、荷物・身障者併用、2.1t (2基) 第三棟……小型機械室レス、4人乗り
●空調設備	保存空調条件 Aランク収蔵 ・収蔵庫 21±1℃ RH60±5% ・企画展示室、特別展示室 21±1℃ RH60±5% 空調方式 Aランク保存展示系統 ・変風量単一ダクト方式 ・第1棟. . . 企画展示室、特別展示室 ・第2棟. . . 収蔵庫 ・第3棟. . . 収蔵庫

一般系統

- ・第1棟. . . ファンコイル外気処理併用方式
- ・第2棟. . . ファンコイル外気処理併用方式・変風量単一ダクト方式
- ・第3棟. . . ファンコイル外気処理併用方式・変風量単一ダクト方式
- ・渡り廊下(ほっとサロンを含む)
空冷ヒートポンプ・バリエーター電気ヒーター・床暖房併用方式

熱源

- ・Aバンク保存展示系統 (冷水+温水. . . 蓄冷+蓄暖)
水冷モジュールチラー-264KW ×2モジュール
無圧温水ヒーター-116KW ×2モジュール都市ガス仕様
冷水槽56m³・温水槽84m³
- ・一般系統 (冷温水. . . 密閉)
冷温水発生機150RT(50×3) 527KW 都市ガス仕様
- ・一般系統 (空冷ヒートポンプエアコン)
空冷ビル用マルチエアコン 冷房能力165KW/暖房能力183KW
空冷パッケージエアコン 冷房能力10KW/暖房能力11.2KW

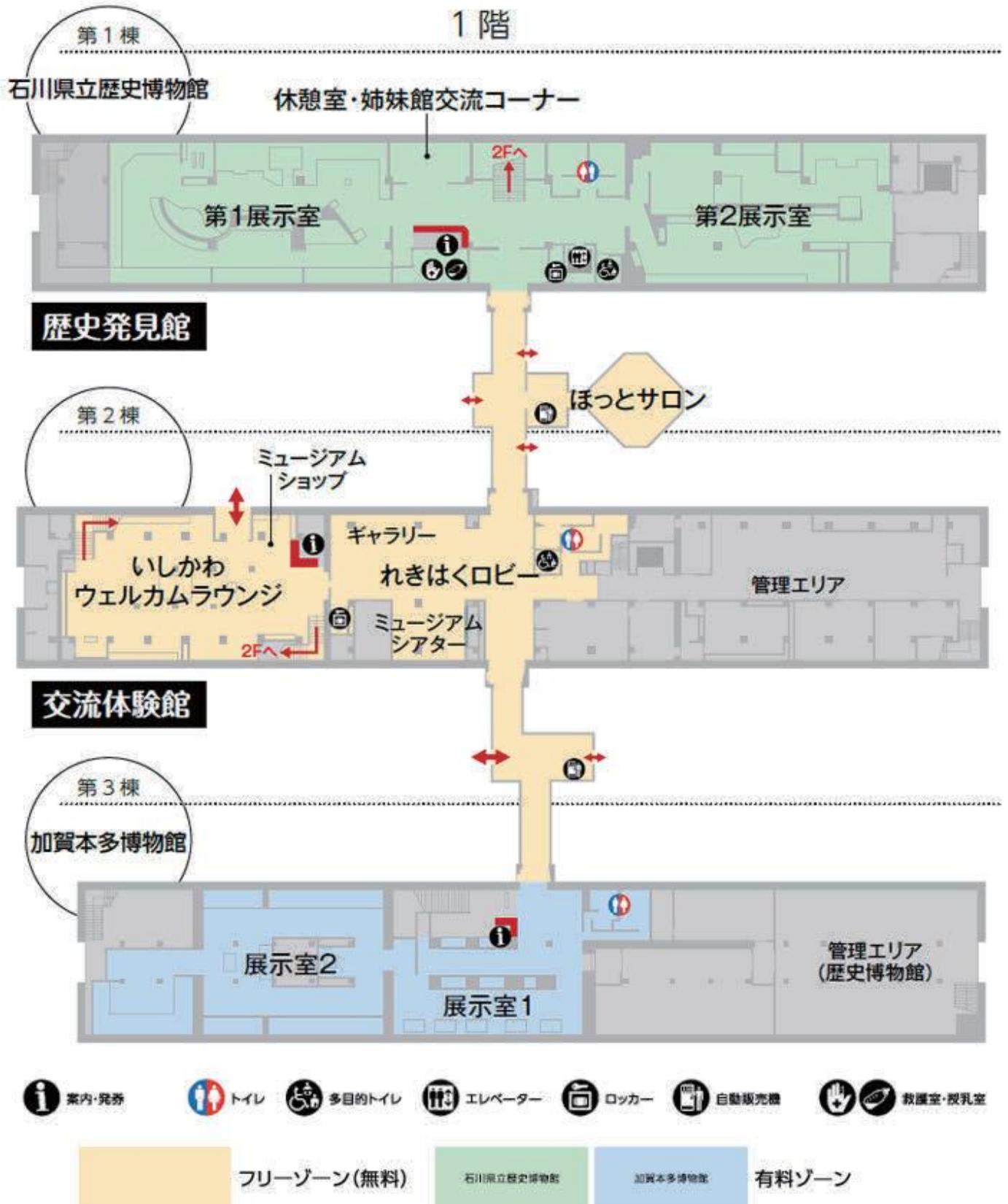
2. 各棟室面積一覧

2015/6/11

管轄	部門	階別	展示室		収蔵スペース		共用区分		機械室分		計	
			室名	面積(m ²)	室名	面積(m ²)	室名	面積(m ²)	室名	面積(m ²)	階別	延べ
歴博	第一棟	1階	常設展示室1	396.19	第一倉庫	13.12	ほっとサロン	65.06	空調機械室1	34.92	1480.55	2767.83
			常設展示室2	364.21			渡り廊下1	99.18	空調機械室2	50.35		
							ホール	121.69	ファンルーム	11.47		
							その他	307.71	EV機械室	16.66		
			計	760.40	計	13.12	計	593.64	計	113.40		
		2階	企画展示室	274.42	第二倉庫	13.12	ホール	135.64	空調機械室3	37.23	1287.28	
			企画展示室準備室	114.20	第三倉庫	17.85	その他	162.28	チャンバールーム1	5.95		
			特別展示室	409.63	第四倉庫	6.01			チャンバールーム2	2.99		
			特別展示準備室	44.53	第五倉庫	17.62			チャンバールーム3	4.17		
			控室	19.16	機材倉庫	19.71			チャンバールーム4	2.78		
	計	861.94	計	74.30	計	297.92	計	53.12				
	第二棟	1階	ISHIKAWAウエルカムラウンジ	310.29	倉庫A(1F)	18.04	渡り廊下2	100.25	中央機械室	199.58	1416.77	2721.76
			れきはくロビー	250.57	倉庫B(1F)	7.50	館長室	51.88	受変電室	45.97		
			(うちミニギャラリー)	(76.22)	倉庫C(1F)	6.50	副館長室	28.51	発電気室	39.32		
			(うちガイダンスシアター)	(45.77)	倉庫D(1F)	1.62	事務室	51.20	ハロポンペ室	14.47		
							警備室	17.46	消火ポンプ室	9.97		
							その他	250.17	EV機械室	13.48		
			計	560.86	計	33.66	計	499.46	計	322.79		
		2階	歴史体験広場(多目的ホール)	171.20	特別収蔵室	160.39	研究室	115.47	ファンルーム	13.31	1304.99	
			情報コーナー	93.96	古文書室	54.46	閲覧室	19.40				
			ワークショップスペース	146.81	文献図書室	49.02	解説員室	56.23				
					フィルム保管室	29.71	ボランティア室	18.37				
					倉庫A(2F)	21.78	その他	319.23				
					倉庫B(2F)	21.74						
計			411.97	計	351.01	計	528.70	計	13.31			
第三棟	1階			第1収蔵室	152.34	その他	60.23	機械室1	52.66	602.56	2249.79	
				第2収蔵室(1階)	270.57			機械室2	55.14			
								スプリンクラーポンプ室	11.63			
	計	0.00	計	422.91	計	60.23	計	119.42				
	2階			第2収蔵室(2階)	529.06	その他	20.84			549.90		
計	0.00	計	529.06	計	20.84	計	0.00					
本多蔵品館	第三棟	1階	本多蔵品館展示室1	266.57			その他	45.83			646.52	
			本多蔵品館展示室2	334.11								
			計	600.69	計	0.00	計	45.83	計	0.00		
	2階	準備室	90.23	本多蔵品館収蔵室	153.93	事務室	28.52				450.81	
						会議室	78.18					
計	90.23	計	153.93	計	206.65	計	0.00					
クーリングタワー		1階	6.90									
合計			展示合計	3286.08	収蔵合計	1577.99	共用合計	2253.27	機械合計	622.05	7746.28	

敷地面積	26791.46
------	----------

3. 館内平面図



2階

第1棟

石川県立歴史博物館



歴史発見館

休憩室

第2棟

歴史体験ひろば
多目的ホール

情報
コーナー

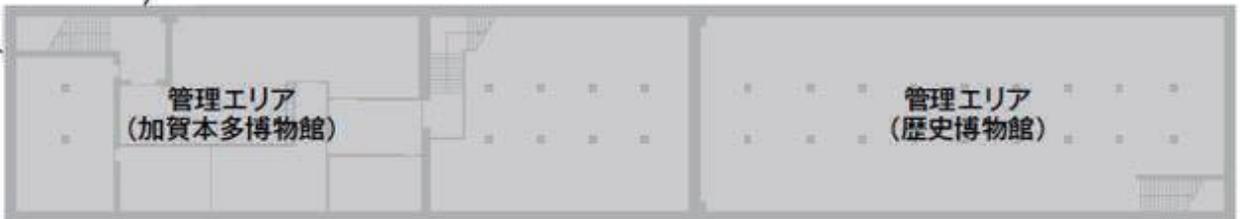
ワーク
ショップ
ルーム

管理エリア

交流体験館

第3棟

加賀本多博物館



案内・発券



トイレ



多目的トイレ



エレベーター



ロッカー



自動販売機



授乳室・授乳室



フリーゾーン(無料)



石川県立歴史博物館

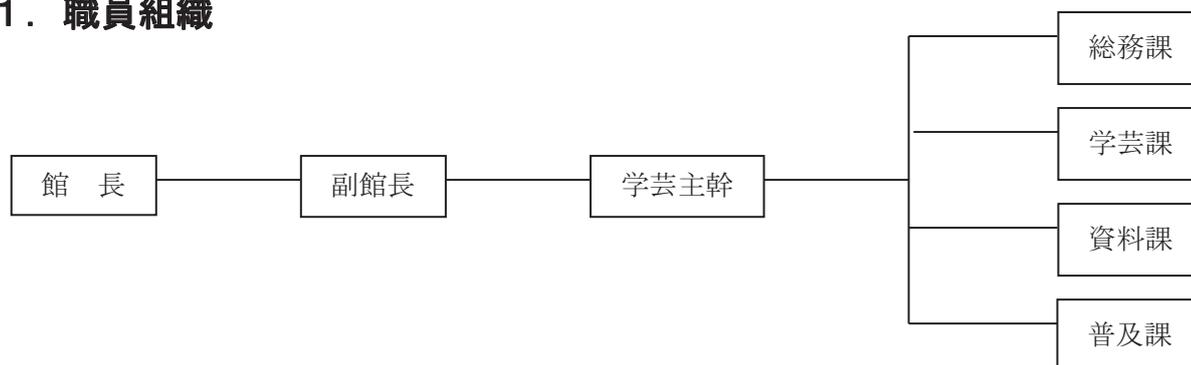


加賀本多博物館

有料ゾーン

Ⅲ. 組織と運営

1. 職員組織



2. 職員名簿

令和元年度（平成31年4月1日現在）

館長（非常勤嘱託）	藤井 譲治	学芸課	普及課
副館長（〃）	宮崎 良則	課長（技術）（併） 大門 哲	課長（技術）（併） 永井 浩
学芸主幹（〃）（技術）	北 春千代	（本務 教育委員会、兼白山ろく民俗資料館）	（本務 教育委員会）
学芸主幹（再）（技術）	戸潤 幹夫	学芸主任（〃） 大井 理恵	学芸主任（〃）（〃） 塩崎 久代
		（兼白山ろく民俗資料館）	（本務 教育委員会）
		学芸主任（〃）（併） 石田 健	学芸員 野村 将之
		（本務 教育委員会、兼石川四高記念文化交流館）	非常勤嘱託 池村 由恵
		非常勤嘱託 杉本 日奈	
総務課		資料課	
課長（事務）	弓波 章二	学芸主幹兼課長（再）（技術） 濱岡 伸也	
企画管理専門員	大畠 雅野	学芸主査（技術） 三浦 俊明	
企画管理専門員	浅田 康弘	学芸員 岡崎 道子	
企画管理専門員	新出 秋江	非常勤嘱託 加藤 睦子	
業務主任（再）（技術）兼美術館	北 晃		
非常勤嘱託	山田ゆかり		

3. 予算及び決算

※定数内職員費を除く。

（単位：千円）

事業名	令和元年度		
	当初予算額	最終予算額	決算額
運営費	72,963	73,853	73,371
案内解説事業費	19,869	19,569	19,569
展示費	46,242	44,977	44,722
調査普及費	17,568	17,646	17,334
整備費	9,600	7,922	7,921
国際交流費	144	144	130
米泉収蔵庫管理事業費	420	420	352
計	166,806	164,531	163,399

4. 事務分掌

令和元年度(平成 31 年 4 月1日現在)

総 務 課	
1	課内事務の統括に関すること。
2	出納事務に関すること。
3	諸規定の運営に関すること。
4	防犯及び防災計画に関すること。
5	運営審議会の連絡調整に関すること。
6	他の課に属しない事務に関すること。
7	予算・決算に関すること。
8	委託等契約事務に関すること。
9	財産の維持及び管理に関すること。
10	情報政策推進員業務に関すること。
11	物品及び収入・支出経理に関すること。
12	文書管理事務に関すること。
13	公用車の運転及び整備に関すること。
14	県庁、分室及び銀行、周辺文化施設等との事務連絡に関すること。
15	職員の服務及び給与、旅費等に関すること。

学 芸 課	
1	学芸活動の企画・調整に関すること。
2	姉妹館との交流及び協力並びに展示・共同研究に関すること。
3	常設展の調整・改善に関すること。
4	特別展及び企画展の企画・調整に関すること。
5	展示室の視聴覚機械の保守・管理に関すること。
6	石川の歴史遺産セミナーに関すること。
7	紀要の作成に関すること。
8	貸館の企画・調整に関すること。
9	寄贈図書等の受入・整理に関すること。
10	文化財情報の収集・整理に関すること。
11	その他学芸補助に関すること。

資 料 課	
1	資料の調査・受入に関すること。
4	資料の保存・修理に関すること。
3	資料の複製・模型に関すること。
1	資料の貸与及び特別利用に関すること。
2	借用資料のとりまとめに関すること。
5	収蔵品の保全・管理に関すること。
3	コレクション展に関すること。
2	運営審議会・資料評価部会に関すること。
4	博物館実習に関すること。

普 及 課	
1	普及事業の企画・調整に関すること。
2	学校教育との連携に関すること。
3	社会教育機関との連携に関すること。
4	県民大学校に関すること。
5	ホームページに関すること。
6	広報活動の企画・実施に関すること。
7	れきはくメイトに関すること。
8	入館者の動向調査に関すること。
9	ボランティアに関すること。
10	年報・館利用案内・年間行事予定の発行に関すること。
11	石川れきはく編集・発行に関すること。
12	各種印刷物の発送に関すること。

この他、学芸関係職員はそれぞれの専門的分野を通して、関連業務および常設展、企画展、特別展等の企画、運営および特別展に関わる図録等の作成にあたることとする。

5. 各種委員会

(1) 運営審議会

石川県立歴史博物館運営審議会設置要綱

(目的)

第1条 石川県立歴史博物館(以下「博物館」という。)の円滑かつ適正な運営を図るため、石川県立歴史博物館運営審議会(以下「運営審議会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 運営審議会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 博物館の運営に関すること。
- (2) 博物館長の諮問に対する答申。
- (3) 博物館長に対する意見具申に関すること。
- (4) 博物館が取得しようとする資料の学問的及び価格に関すること。
- (5) その他、特に必要と認められること。

(組織)

第3条 運営審議会は、20名以内の委員をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会との協議を経て、知事が委嘱する。

- (1) 社会教育関係者
- (2) 学校教育関係者
- (3) 学識経験者

3 委員は、互選によって会長及び副会長を定める。

4 会長は、議長となり会議を主宰し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、副会長がその職務を行う。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

(会議)

第5条 運営審議会の会議は、会長が召集する。

2 運営審議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

(専門部会)

第6条 運営審議会には、博物館が取得しようとする資料の学問的評価及び価格(以下「資料の評価等」という。)に関し審議する専門部会(以下「資料評価専門部会」という。)を置く。

2 資料評価専門部会に関する必要な事項は、別に定める。

(事務局)

第7条 運営審議会の事務は博物館において処理する。

(雑則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、運営審議会の運営について必要な事項は、別に定める。

附則

この要綱は、平成8年4月1日から施行する。

会議

<第1回> 平成31年3月13日(水)

会場 本館ワークショップルーム

- 議事 (1) 平成30年度の事業執行状況について
(2) 平成31年度事業計画及び予算について

委員名簿(13名)

(平成31年4月1日現在)

氏名	役職	委員の構成	備考
東四柳史明	金沢学院大学名誉教授	学識経験者	資料評価専門部会員
谷内尾晋司	石川考古学研究会顧問	〃	資料評価専門部会員
東 澄子	元石川県立美術館学芸主幹	〃	資料評価専門部会員
太田 昌子	金沢美術工芸大学名誉教授	〃	
笠井 純一	金沢大学名誉教授	〃	
小林 忠雄	加能民俗の会会長	〃	
木越 隆三	金沢城調査研究所長	〃	資料評価専門部会員
野口 弘	金沢市教育長	〃	資料評価専門部会員
能木場由紀子	石川県婦人団体協議会会長	社会教育関係者	
浅永 剛司	石川県小学校長会(金沢市立安原小学校長)	学校教育関係者	
四十住基子	石川県中学校長会(珠洲市立三崎中学校長)	〃	
江尻 祐子	石川県高等学校長会(県立金沢二水高等学校長)	〃	

6. 入場料について

(1) 入場料の徴収(常設展)

入場料の徴収区分(歴史博物館)[常設展](平成27年4月17日より)

区 分	一般(18歳以上の者)
	大学の学生及びこれに準ずる者
※()は20人以上の団体料金	

300円(240円)

・・・18歳未満は高校生でなくても無料である。

240円(190円)

・・・大学生、短大生、専門学校生など学校教育法に基づき許可を受けている学校の学生。

(年齢不問ただし証明するものがあること)

(2) 入場料の減免基準

項 目 (減免基準)	歴史博物館	
	特別展	常設展
小学校、中学校、高等学校 及び 特別支援学校 が教育課程に基づく教育活動として入場するとき	児童・生徒	場合による
	引率者	無料
入館を予定する学校団体の教師 (下見)	無料	無料
ボーイスカウト、少年スポーツ団体、学童保育機関等の引率者及び付添者 (事前に申し出た場合に限る)	無料	無料
幼稚園、保育園等の団体の引率者	無料	無料
65歳以上の方	団体料金	団体料金 (祝日は無料)
身体障害者手帳 又は 療育手帳 又は 精神保健福祉手帳 を所持する方	無料	無料
上記1付添者(手帳所持者1人につき1名、団体の付添者は全員)	無料	無料
県内に居住する生活保護法に基づく生活扶助又は教育扶助を受けている方	無料	無料
社会福祉施設 (石川県社会福祉協議会に加入している施設) の入所者、通所者	団体料金	団体料金 (祝日は無料)
上記1付添者(手帳所持者1人につき1名、団体の付添者は全員)	無料	無料
石川県立歴史博物館 れきはくメイト会員証 を所持する方	団体料金	無料
いしかわ文化の日(毎年10月の第3日曜日)	団体料金	無料
兼六園周辺文化の森の相互割引 対象施設 (国立工芸館、石川県立美術館、いしかわ生活工芸ミュージアム、金沢21世紀美術館、金沢市立中村記念美術館、金沢ふるさと偉人館) 主催展覧会(会期中)のチケット半券を所持する方	団体料金	団体料金
石川県立美術館、石川県立輪島漆芸美術館、石川県七尾美術館、珠洲市珠洲焼資料館友の会会員証 を所持する方	団体料金	団体料金
石川県博物館協議会 会員証 を所持する方 と 同伴者1名まで	無料	無料
日本博物館協会 会員証 を所持する方 と 同伴者1名まで	無料	無料
KGGN(金沢グッドウイルガイドネットワーク)の身分証明書 を所持する方	無料	無料
タクシー、観光バスの運転手、乗務員、添乗員 及び ボランティアガイド‘まいどさん’で観覧者と同行して入場する方 (通訳を含む)	無料	無料
兼六園・文化施設共通利用券「兼六園プラス1利用券」を所持する方	団体料金	無料
金沢市文化施設共通観覧券(1DAY、3日間、1年間バス) を所持する方	団体料金	団体料金
いしかわ観光旅パスポート を所持する方	—	団体料金
「婚パス(石川しあわせ婚応援パスポート)・婚パスお試しクーポン」を所持する方	—	団体料金
加賀百万石回遊ルート「SAMURAIパスポート」を所持する方	—	無料
「金沢・加賀・能登ぐるりんパス」(JR) を所持する方	団体料金	無料
「金沢市内1日フリー乗車券」(北鉄バス) を所持する方	団体料金	団体料金
金沢コンベンションビューロー指定の大会等に参加し、指定の半券 を所持する方 と 同伴者1名まで	団体料金	団体料金
「学パス(学生のまちパスポート)」を所持する方	—	無料
「IJSPパス」を所持する方 ※Ishikawa Japanese Studies Program	—	無料
JAPAN TENT(ジャパンテント)の留学生・研修生の方	無料	無料
いしかわ観光特使 に任命された方	無料	無料

IV. 関係条例・規則

1. 学校以外の教育機関等設置に関する条例 (昭和 32 年 3 月 27 日条例第 14 号)

(設 置)

第 1 条 地方自治法 (昭和 22 年法律第 67 号) 第 244 条第 1 項、図書館法 (昭和 25 年法律第 118 号) 第 10 条、博物館法 (昭和 26 年法律第 285 号) 第 18 条及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律 (昭和 31 年法律第 162 号) 第 30 条の規定により、県に学校以外の教育機関等及びその他の施設を設置する。

(名称、位置及び事業内容)

第 2 条 前条の教育機関等の名称、位置及び事業内容は、次のとおりとする。

名 称	位 置	事 業 内 容
石川県立 歴史博物館	金沢市	歴史民俗文化財の収集、保管及び展示並びに歴史民俗文化財に関する調査研究及び指導に関すること。

備考 石川県立歴史博物館の設置は、昭和 61 年 3 月 22 日条例第 24 号の改正による。

2. 石川県立歴史博物館管理規則 (平成 27 年 3 月 31 日石川県規則第 16 号)

(趣 旨)

第 1 条 この規則は、学校以外の教育機関等設置に関する条例 (昭和 32 年石川県条例第 14 号) 第 11 条の規定により、石川県立歴史博物館 (以下「歴史博物館」という。) の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第 2 条 歴史博物館の開館時間は、午前 9 時から午後 5 時までとする。ただし、展示室への入室は、午後 4 時 30 分までとする。

(休館日)

第 3 条 歴史博物館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 1 月 1 日から同月 3 日まで及び 12 月 29 日から同月 31 日まで
- (2) 資料の展示替え又は整理の期間

(開館時間の変更等)

第 4 条 前 2 条の規定にかかわらず、知事が特に必要があると認めるときは、臨時に開館時間を変更し、又は休館することができる。

2 前項の規定により開館時間を変更し、又は休館する場合は、その旨を歴史博物館の入口その他見やすい場所に掲示するものとする。

(入館の制限)

第 5 条 石川県立歴史博物館長 (以下「館長」という。) は、次の各号の 1 に該当する者に対しては、歴史博物館への入館を拒否することができる。

- (1) 他の入館者に迷惑を及ぼすおそれがある者
- (2) 他の入館者に危害を加え、又は歴史博物館の設備、器具若しくは展示品を損傷するおそれがある物品又は動物を携帯する者
- (3) 前 2 号に掲げる者のほか、歴史博物館の管理上支障があると認められる行為をするおそれがある者

(入館者の遵守事項等)

第 6 条 歴史博物館の入館者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 展示品に触れないこと (特に指定した展示品を除く。)
- (2) 展示品の近くでインキ、墨汁等を使用しないこと。
- (3) 館長の許可を受けないで、展示品の撮影、模写等をしないこと。
- (4) 館長の指定する場所以外で喫煙又は飲食をしないこと。
- (5) 寄付金の募集、物品の販売、広告物の配布、立看板の掲示その他これらに類する行為をしないこと。
- (6) 他の入館者に危害を加え、又は迷惑となる行為をしないこと。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、館長の指示した事項

2 館長は、入館者が前項の規定に違反したときは、その者に退去を命じ、又は必要な措置をとることができる。

(特別利用の許可等)

第 7 条 歴史博物館が所蔵する資料 (以下「所蔵品」という。) の閲覧、模写、模造、撮影又は写真原板使用等 (以下これらを「特別利用」という。) をしようとする者は、別記様式第 1 号による申請書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

※別記様式第 1 号は省略

2 前項の場合において、所蔵品でないもの又は他に著作権があるものについては、それぞれ当該所有者又は著作権者の同意を得た書面を添付しなければならない。

3 館長は、第 1 項の許可に歴史博物館の管理上必要な条件を付すことができる。

4 館長は、第1項の許可を受けた者が前項の規定により付された許可の条件に違反した場合には、当該許可を取り消し、又は当該許可に係る特別利用を停止させることができる。

(施設の使用許可)

第8条 歴史博物館の施設(特別展示室、企画展示室、ギャラリーに限る。)を使用しようとする者は、使用しようとする日の1年前から1月前までに別記様式第2号による申請書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。ただし、館長が特別の事情があると認めたときは、この期間によらないことができる。

※別記様式第2号は省略

2 前項の許可は、館長が歴史博物館の事業活動に支障がないと認める場合にするものとする。

3 前条第3項の規定は、第1項の許可に準用する。

(施設使用の制限)

第9条 館長は、前条第1項本文の規定による申請が次のいずれかに該当する場合には、同項の許可をしないことができる。

- (1) 館内の秩序又は風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
- (2) 営利のみを目的とするおそれがあると認められるとき。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、歴史博物館の管理上支障があると認められるとき。

(施設使用の変更)

第10条 第8条第1項の許可を受けた者(以下「使用者」という。)が当該許可に係る事項の変更をしようとするときは、別記様式第3号による申請書に同項の許可に係る許可書を添えて館長に提出し、その許可を受けなければならない。

※別記様式第3号は省略

(使用者の使用取消し)

第11条 使用者が施設の使用を取り消すときは、別記様式第4号による届出書に第8条第1項の許可に係る許可書を添えて、速やかに、館長に提出しなければならない。この場合において、前条の規定による変更の許可を受けていた場合は、当該変更に係る許可書を添えてしなければならない。

※別記様式第4号は省略

(使用権の譲渡等の禁止)

第12条 使用者は、使用の権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(施設の変更の禁止)

第13条 使用者は、施設に変更を加え、又は特別の設備を設けてはならない。ただし、あらかじめ、館長の承認を受けたときは、この限りでない。

(使用者の遵守事項)

第14条 使用者は、前2条に規定するもののほか、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 許可を受けた目的外に使用しないこと。
- (2) 使用許可を受けた施設(以下「使用許可施設」という。)以外の施設に立ち入らないこと。
- (3) 館長の許可を受けずに寄付金の募集、物品の販売、広告物の配布、立看板の掲示その他これらに類する行為をしないこと(第三者をして行わせる場合を含む)。
- (4) 第5号各号のいずれかに該当する者に対しては、使用許可施設への入場を拒否すること。
- (5) 使用許可施設の入場者に第6条第1項各号に掲げる事項を守らせ、及び当該事項を守らない者がいるときは、その者を退場させ、又は必要な措置を講ずること。
- (6) 火災、盗難、人身事故その他の事故防止に努めること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、館長の指示した事項

(施設使用許可の取消し)

第15条 使用者が次のいずれかに該当する場合には、館長は、第8条第1項の許可を取り消すことができる。

- (1) 虚偽の申請により許可を受けたことが判明したとき。
- (2) 第8条第3項において準用する第7条第3項の規定により付された許可の条件に違反したとき。
- (3) 第9条各号のいずれかに該当すると認められたとき。
- (4) 第10条から前条までの規定に違反したとき。

(館長の指示等)

第16条 館長は、歴史博物館の秩序の維持及び施設の管理上必要があると認めるときは、使用者に対し、施設の使用に関して指示をし、又は職員を使用中の施設に立ち入らせその使用状況を調査させることができる。

(原状回復)

第17条 使用者は、施設の使用を終了したときは、その使用に係る施設を直ちに原状に回復し、館長に届け出てその点検を受けなければならない。第15条の規定により使用の許可を取り消されたときも同様とする。

(施設使用終了の報告)

第18条 使用者は、施設の使用を終了したときは、速やかに、別記様式第5号による報告書を館長に提出しなければならない。

※別記様式第5号は省略

(損害賠償)

第19条 館長は、歴史博物館の施設、設備、展示品等を故意又は過失によりき損又は滅失した者に対して、その損害を賠償させることができる。

(所蔵品の貸出し)

第 20 条 館長は、所蔵品を他の博物館又はこれに準ずるものに貸し出すことができる。公益事業の用に供するときも同様とする。

2 館長は、前項の規定により所蔵品の貸出しを行う場合において、当該所蔵品が文化財保護法（昭和 25 年法律第 214 号）又は石川県文化財保護条例（昭和 32 年石川県条例第 41 号）の規定による指定を受けた文化財であるときは、教育委員会教育長の承認を受けなければならない。

（資料の受託）

第 21 条 館長は、資料の保管の委託を受けるときは、知事の承認を受けなければならない。

（雑 則）

第 22 条 この規則に定めるもののほか、歴史博物館の管理運営について必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成 18 年 6 月 30 日規則第 43 号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成 27 年 3 月 31 日規則第 16 号）

この規則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

3. 石川県立歴史博物館使用料条例 (平成 27 年 3 月 23 日条例第 7 号)

(趣 旨)

第 1 条 この条例は、石川県立歴史博物館（以下「歴史博物館」という。）の使用料に関し必要な事項を定めるものとする。

(使用料)

第 2 条 この条例において「使用料」とは、入場料及び施設使用料をいう。

(入場料)

第 3 条 知事は、展示資料を観覧するため歴史博物館へ入館する者から入場料を徴収する。

2 入場料の額は、別表 1 のとおりとする。

(施設使用料)

第 4 条 知事は、歴史博物館の施設の使用の許可を受けた者（別表 2 において「使用者」という。）から施設使用料を徴収する。

2 施設使用料の額は、別表 2 のとおりとする。

(使用料の納付等)

第 5 条 使用料は、前納しなければならない。ただし、知事は、相当の理由があると認めるときは、使用料の全部又は一部を後納させることができる。

2 既納の使用料は、返還しない。ただし、知事が返還することを相当と認めたときは、その全部又は一部を返還することができる。

3 知事は、特に必要があると認めるときは、使用料を減免することができる。

(規則への委任)

第 6 条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

1 この条例は、規則で定める日から施行する。ただし、附則第 2 項の規定は昭和 61 年 4 月 1 日から施行する。（昭和 61 年 10 月規則第 43 号で、同 61 年 10 月 25 日から施行）

2 石川県立郷土資料館入場料条例（昭和 43 年石川県条例第 38 号）は、廃止する。

附 則（平成元年 3 月 24 日条例第 5 号抄）

(施行期日)

1 この条例は、平成元年 4 月 1 日から施行する。（後略）

附 則（平成 18 年 6 月 30 日条例第 29 号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成 27 年 3 月 23 日条例第 7 号）

この条例は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

別表第 1（第 3 条関係）

1 常設展示を観覧する場合

区 分	単 位	金 額	
		個人	団体(20人以上)
一 般 (18歳以上の者)	1人につき	300円	240円
大学の学生及び これに準ずる者	1人につき	240円	190円

2 特別展示を観覧する場合

1,500 円の範囲内で知事とその都度定める額

別表第 2(第 4 条関係)

1 使用者が観覧料、入場料その他これらに類する料金（次項において「料金」という。）を徴収しない場合

区 分	単 位	施設利用料の額
特別展示室	1日につき	18,920円

2 使用者が料金を徴収する場合

前項の施設使用料の額に 100 分の 130 を乗じて得た額

3 企画展示室に係る使用料の額については、第 2 項の施設使用料の例により知事とその都度定める。

備考

1 「1 日」とは、午前 9 時から午後 5 時までをいう。
2 使用時間が 1 日の時間に満たない場合の施設使用料の額は、当該 1 日の施設使用料の額とする。

4. 石川県立歴史博物館使用料条例施行規則 (平成 28 年 3 月 25 日 規則第 9 号)

(趣 旨)

第 1 条 この規則は、石川県立歴史博物館使用料条例（昭和 61 年石川県条例第 26 号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(入場券)

第 2 条 条例第 3 条第 1 項の規定により入場料を徴収したとき（前納したときに限る。）は、当該被徴収者に別記様式第 1 号に規定する入場券を交付す

るものとする。

(使用料の後納)

第 3 条 条例第 5 条第 1 項ただし書きの規定により使用料を後納させることができる場合は、次のとおりとする。

- (1) 旅行業法（昭和 27 年法律第 239 号）第 3 条の規定による登録を受けた者との入場に係る契約に基づき入場させるとき。
- (2) その他石川県立歴史博物館長（以下「館長」

という。)が特別の理由により必要と認めたと
き。

使用料を返還することができる場合及びその割合
は、次のとおりとする。

- (1) 管理上の必要により、施設の使用の許可を取
り消したとき。 施設使用料の全額
- (2) 施設の使用許可を受けた者が使用開始前 10
日までに使用の取消しを届け出たとき。 施
設使用料の 100 分の 60 に相当する額
- (3) その他館長が特別の理由により必要と認め
たとき。 入場料又は施設使用料のうち館長
が相当と認める額

- 2 前項の規定により使用料の返還を受けようとす
る者は、別記様式第 2 号に規定する使用料返還請
求書に入場料の返還の場合にあつては、入場券を
添えて、館長に提出しなければならない。

(使用料の減免)

第 5 条 条例第 5 条第 3 項の規定により使用料を減
免することができる場合及びその割合は、次のと
おりとする。

- (1) 小学校、中学校、義務教育諸学校、高等学校
及び特別支援学校の児童又は生徒の引率者
が教育課程に基づく教育活動として入場す
るとき。 使用料の全額
- (2) 生活保護法（昭和 25 年法律第 144 号）に基
づく生活扶助又は教育扶助を受けている者
で県内に居住する者が入場するとき。 使用
料の全額
- (3) その他館長が特別の理由により必要と認め
たとき。 入場料又は施設使用料のうち館長
が相当と認める額

- 2 前項の規定により入場料の減免を受けようとす
る者の取扱いについては、館長が別に定める。

附 則

この規則は、昭和 61 年 10 月 25 日から施行する。

附 則（平成元年 3 月 31 日規則第 25 号）

この規則は、平成元年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 7 年月 28 日規則第 33 号）

この規則は、平成 7 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 11 年 3 月 31 日規則第 35 号）

- 1 この規則は、公布の日から施行する。
- 2 この規則による改正前のそれぞれの規則の規定
に基づき作成した用紙は、なお当分の間、所要の
調整をして使用することができる。

附 則（平成 18 年 6 月 30 日規則第 41 号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成 19 年 3 月 30 日規則第 22 号）

この規則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。附
則（平成 28 年 3 月 25 日規則第 9 号）

この規則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

(使用料の返還)

第 4 条 条例第 5 条第 2 項ただし書きの規定により

V. 日記 (抄) 平成31 (2019) 年4月1日～令和2 (2020) 年3月31日

令和元年度(2019)

- 4月5日 春季ボランティア研修会
- 4月8日 春季ボランティア研修会
- 4月9日 春季ボランティア研修会
- 4月10日 春季ボランティア研修会
- 4月22日 休館(～4月23日まで)
- 4月27日 春季特別展「いしかわの神々ー信仰と美の世界ー」開催
(4月27日～6月2日まで)
- 4月27日 MW特別講演会「可能性への挑戦～神話から始まる大相撲の世界～」
- 4月27日 進め！出世街道2019「源義経に变身してみよう」(4/27～5/6)
- 5月6日 春季特別展展示解説①
- 5月11日 特別展記念講演会「能登の神像彫刻とその周辺」
- 5月16日 古文書講座前期①「越中放生津 綿屋彦九郎の廻船事業を読もう」
- 5月24日 学芸員によるワンポイント解説①
- 5月25日 石川の歴史遺産セミナー「気多神の原像を探る」
- 5月31日 春季特別展展示解説②
- 6月3日 休館(～6月4日まで)
- 6月15日 れきはくゼミナール①
- 6月20日 古文書講座前期②「越中放生津 綿屋彦九郎の廻船事業を読もう」
- 6月21日 学芸員によるワンポイント解説②
- 6月24日 れきはくメイト初夏の歴史散歩「前田家ゆかりの寺ー妙成寺をめぐるー」
- 7月4日 古文書講座前期③「越中放生津 綿屋彦九郎の廻船事業を読もう」
- 7月13日 れきはくゼミナール②
- 7月17日 休館(～7月19日)
- 7月20日 夏季特別展「画業50年“突破”記念 永井GO展」開催
(7月20日～8月25日まで)
- 7月26日 学芸員によるワンポイント解説③
- 8月1日 古文書講座前期④「越中放生津 綿屋彦九郎の廻船事業を読もう」
- 8月2日 子ども体験コーナー「？はてなBOX」(8/2～8/18)
- 8月10日 伝統工芸制作体験ワークショップ「加賀友禅でトートバッグをつくろう」
- 8月11日 夏季特別展ワークショップ「人型ロボットNAOを動かしてみよう」
- 8月15日 きらりんワークショップ「光の箱」
- 8月16日 きらりんワークショップ「光のツリー」
- 8月17日 れきはくゼミナール③
- 8月18日 子ども展示解説
- 8月23日 学芸員によるワンポイント解説④
- 8月26日 休館(～8月27日まで)
- 9月5日 古文書講座前期⑤「越中放生津 綿屋彦九郎の廻船事業を読もう」
全5回終了
- 9月9日 秋季ボランティア研修
- 9月11日 休館(～9月13日まで)
- 9月14日 秋季特別展「加賀前田家と北野天満宮」開催(9/14～11月4日まで)
- 9月14日 特別展記念講演会「加賀前田家と北野天満宮」
- 9月15日 秋季特別展展示解説①
- 9月21日 れきはくゼミナール④
- 9月27日 学芸員によるワンポイント解説⑤
- 10月5日 秋季特別展展示解説②
- 10月10日 れきはくメイト秋の歴史散歩
「金沢駅前の寺社をめぐるー天神社の明治維新ー」
- 10月20日 石川の歴史遺産セミナー「加賀前田家の天神信仰」
- 10月20日 ワークショップ「刀の鐔コースターをつくる！」
(10/20・10/26・11/2・11/3・11/4)
- 10月20日 ワークショップ「天神堂を組み立ててみよう」
(10/20・10/26・11/2・11/3・11/4)
- 10月22日 秋季特別展展示解説③
- 10月25日 学芸員によるワンポイント解説⑥
- 10月26日 れきはくゼミナール⑤
- 10月30日 れきはくメイト秋のバスツアー「今庄・丸岡を巡る旅」
- 11月2日 工芸文化の歴史講座「五代綱紀と加賀文化の成熟」
- 11月3日 博物館でお抹茶体験
- 11月4日 伝統工芸制作体験ワークショップ「加賀友禅でトートバッグを作ろう」
- 11月5日 休館(～11月6日まで)



春季特別展記念講演会



れきはくメイト初夏の歴史散歩



職場体験
(金沢市立清泉中学校)



ワークショップ
「人型ロボットNAOを動かしてみよう」



館長講演会(秋季特別展記念講演会)
「加賀前田家と北野天満宮」

- 11月9日 れきはくゼミナール⑥
 11月13日 いしかわ県民大学校「歴史講座」①
 11月17日 冬の企画展「珠洲古陶ーその歴史と美ー」開催(11月17日～12月15日まで)
 11月17日 企画展記念講演会「王朝の美・秋草文壺の世界」
 11月17日 ふれてみるいしかわの文化展開催(11月17日～23日まで)
 11月17日 ふれてみるいしかわの文化展「アイルランド音楽とおはなしの会」
 11月20日 いしかわ県民大学校「歴史講座」②
 11月21日 ふれてみるいしかわの文化展「オカリナコンサート」
 11月22日 学芸員によるワンポイント解説⑦
 11月22日 ふれてみるいしかわの文化展「オカリナコンサート」
 11月23日 ふれてみるいしかわの文化展「親子ふれあい彫刻ワークショップ」
 11月27日 いしかわ県民大学校「歴史講座」③
 11月27日 MWミニコンサート「尺八とフルートのデュオ」
 12月4日 いしかわ県民大学校「歴史講座」④
 12月8日 東京国立近代美術館工芸館移転連携事業企画展記念講演会
 「王朝の美・秋草文壺の世界」
 12月8日 東京国立近代美術館工芸館移転連携事業企画展記念
 ミュージアムコンサート
 12月10日 MWミニコンサート「チェロとピアノのデュオ」
 12月11日 いしかわ県民大学校「歴史講座」⑤
 12月14日 伝統工芸制作体験ワークショップ「珠洲焼でミニカップを作ろう」
 12月18日 いしかわ県民大学校「歴史講座」⑥
 12月20日 学芸員によるワンポイント解説⑧
 12月21日 れきはくゼミナール⑦
 12月25日 いしかわ県民大学校「歴史講座」⑦
 12月27日 年末年始休館(12月27日～1月3日まで)/消防訓練
 1月15日 いしかわ県民大学校「歴史講座」⑧
 1月18日 れきはくゼミナール⑧
 1月22日 いしかわ県民大学校「歴史講座」⑨
 1月24日 学芸員によるワンポイント解説⑨
 1月29日 いしかわ県民大学校「歴史講座」⑩全10回修了
 1月30日 休館(～1月31日まで)
 2月1日 企画展「れきはくコレクション2019」開催(2月1日～3月15日まで)
 2月1日 工芸文化の歴史講座「加賀藩御細工所」
 2月1日 十二ひとえを着てみよう(3/22までの土日祝 2/25で中止)
 2月8日 ワークショップ「金花糖の色付け体験」
 2月9日 冬のミュージアムウィーク
 「柴野大造氏のジェラートイリュージョン&トークショー」
 2月15日 れきはくゼミナール⑨
 2月19日 古文書講座後期①「加賀藩士の古文書を読むー青山家文書ー」
 2月21日 学芸員によるワンポイント解説⑩
 2月29日 展示解説(中止)
 3月4日 古文書講座後期②「加賀藩士の古文書を読むー青山家文書ー」(中止)
 3月14日 れきはくゼミナール⑩(中止)
 3月16日 休館(～17日まで)
 3月18日 古文書講座後期③「加賀藩士の古文書を読むー青山家文書ー」(中止)
 3月21日 れきはくゼミナール⑪(中止)
 3月27日 学芸員によるワンポイント解説⑪(中止)



れきはくメイト秋の歴史散歩



れきはくメイト秋のバスツアー



博物館でお抹茶体験



ワークショップ
「金花糖の色付け体験」

VI. 各種書式

副館長	学芸主幹	総務課長	普及課長	受付

入 館 申 込 書

受 付
(Web申込) 年 月 日

フリガナ 団体名称		校種	
郵便番号 所在地	—		
電話番号	— —	フリガナ 引率代表者 氏名	先生(様)
来館日時	年 月 日 時 分 ~ 時 分	曜日	
入館者内訳	一般 名 (内、65歳以上 名) 短・大・各種学生 名 高校生 名 小・中学生 名 学年・クラス数 年 クラス	料 金	一般 有料・無料 65歳以上 有料・無料 短・大・各種学生 有料・無料 その他 有料・無料 () 引率 有料・無料
入館方法		グループ数	グループ
バス来館	台		
雨天時対応 予備日	年 月 日 時 分 ~ 時 分	曜日	
体験ひろば 利用			
ワークショップ ルーム使用			
備 考			

* 注意事項 送付済み 未発送

当日記入欄	
-------	--

特別利用許可申請書（掲載）

年 月 日

石川県立歴史博物館
館長 藤井 讓治 様

所在地

申請者 名称及び代表者の氏名

㊞

電話番号

担当者名

下記の資料の掲載を許可して下さるよう申請します。

1、資料名

2、利用目的（掲載媒体と出版年月日も明記）

3、画像提供の要・不要

4、備考

掲載に際して

- ① 今回の申請の目的以外に使用しません。
- ② 石川県立歴史博物館所蔵であることを表示します。
- ③ 掲載物を1部石川県立歴史博物館に寄贈します。
- ④ その他、石川県立歴史博物館の指示に従います。

記入時の注意

- 1、申請者欄の代表者名には、貴社代表者様（代表取締役など）のお名前を、役職名も含めて記入してください。
- 2、申請者欄の㊤には社判（公印）を押してください。
- 3、資料名は正確に記入してください。
- 4、**資料のデータ提供**を希望される場合は画像提供の要・不要欄に「データ希望」と記し、メールで受け取る（2MBまで）か記録媒体（CDなど）で受け取るかを明記してください。メールでの受け取りを希望される場合はメールアドレスを併記してください。特別利用承諾書の郵送とともにデータを送信します。記録媒体での受け取りを希望される場合は申請書に当該媒体を同封してください。
- 5、**フィルムの貸与**を希望される場合は画像提供の要・不要欄に「フィルムの貸与希望」と記入してください。特別利用承諾書・ポジフィルムとともに借用証をお送りします。借用証は正本と控の二枚一組です。両方に記入・押印してください。借用証中の「代表者名」には貴社代表者様のお名前を記入し、「印」には社判（公印）を押してください。借用証は記入後、正本の方を速やかに当館へお送りください。正本はフィルムの返却後、ご返送します。
- 6、資料の特定に必要ですので、参考にされた**図版のコピー**を必ず添付してください。
- 7、申請書は、返信用封筒と 82 円切手を添えてお送りください。

特別利用許可申請書（放映）

年 月 日

石川県立歴史博物館
館長 藤井 讓治 様

所在地

申請者 名称及び代表者の氏名

㊞

電話番号
担当者名

下記の資料の放映を許可して下さるよう申請します。

1、資料名

2、利用目的（放送局、番組名と放映年月日も明記）

3、画像提供の要・不要

4、備考

放映に際して

- ① 今回の申請の目的以外に使用しません。
- ② 石川県立歴史博物館所蔵であることを表示します。
- ③ その他、石川県立歴史博物館の指示に従います。

記入時の注意

- 1、申請者欄の代表者名には、貴社代表者様（代表取締役など）のお名前を、役職名も含めて記入してください。
- 2、申請者欄の㊤には社判（公印）を押してください。
- 3、資料名は正確に記入してください。
- 4、**資料のデータ提供**を希望される場合は画像提供の要・不要欄に「データ希望」と記し、メールで受け取る（2MBまで）か記録媒体（CDなど）で受け取るかを明記してください。メールでの受け取りを希望される場合はメールアドレスを併記してください。特別利用承諾書の郵送とともにデータを送信します。記録媒体での受け取りを希望される場合は申請書に当該媒体を同封してください。
- 5、**フィルムの貸与**を希望される場合は画像提供の要・不要欄に「フィルムの貸与希望」と記入してください。特別利用承諾書・ポジフィルムとともに借用証をお送りします。借用証は正本と控の二枚一組です。両方に記入・押印してください。借用証中の「代表者名」には貴社代表者様のお名前を記入し、「印」には社判（公印）を押してください。借用証は記入後、正本の方を速やかに当館へお送りください。正本はフィルムの返却後、ご返送します。
- 6、資料の特定に必要ですので、参考にされた**図版のコピー**を必ず添付してください。
- 7、申請書は、返信用封筒と 82 円切手を添えてお送りください。

石川県立歴史博物館 年報
第 22 号 令和元年度版
令和 3 年 3 月 31 日発行

発 行 石川県立歴史博物館
〒920-0963
石川県金沢市出羽町 3 番 1 号
T E L (076) 262-3236